

明治三拾年五月ヨリ

日本磨齒製造株式
加入書類入袋

本間

日本磨齒製造株式會社

決議書
事務報告
營業景況
營業報告

日本磨齒製造株式會社第三回通常總會決議書

明治三十四年一月三十一日
日本磨齒製造株式會社
第三回通常總會決議書

日本磨齒製造株式會社第三回通常總會決議書

明治三十四年一月三十一日日本會社第三回通常總會ヲ本會社内ニ於テ開ク當日出席株主并

ニ總株金等定數ニ滿ルヲ以テ全日午後四時開會セリ當日決定セリ各項左ノ如シ

一本會社第三回事務報告書

一本會社第三回營業狀況書

一本會社第三回至全自明治三十三年一月營業報告書

右之通認定スル所相違無之依テ茲ニ記名捺印スルモノ也

明治三十四年一月三十一日

出席株主

兒玉 其友

吉 富 寅 太

劍會 信 郎 輔

信 吉 五 郎

清水 生 輔

桂 津 梅 吉

林 春 造

佐々木 一太郎

委任出席者

河北 勘 七

八木 慶太郎

荒川 信 介

末廣 福治郎

兒玉 鬼一郎

松崎 仙之介

佐永 澄郎吉

永安 重三郎

日本經濟學科大會 第三屆 東京 明治 商業 正 殿

日本經濟學科大會 第三屆 東京 明治 商業 正 殿

澤光 儀兵衛

秋本 百介

能野 猪之介

上田 寧二

井上 啓藏

井上 五郎三郎

井上 貞吉

木村 照治郎

堀山 潤 作

松谷 辰藏

八木 宗十郎

日本經濟學科大會 第三屆 東京 明治 商業 正 殿

日本經濟學科大會 第三屆 東京 明治 商業 正 殿

第三回事務報告

日本齒製造株式會社

一明治三十三年一月ヨリ全年十二月ニ至ル本會社ニ於テ實際施行シタル業務ノ細末及諸
勘定ヲ精査シ以テ株主各位ニ報告スル事項左ノ如シ

所 務 要 項

一明治三十三年一月廿七日當町内新町對山部ニ於テ株主總會ヲ開キ第二回營業報告ヲナ
シ尙引續定款第四條變更即チ本會社移轉必要ノ場合ニ對シ重役一任スルノ件ニ付臨時
株主總會ヲ開キ出席者少數ナリシヲ以テ假議決ナリ

一明治三十三年三月十二日定款第四條變更ノ件ニ付第三回臨時株主總會ヲ本會社内ニ於
テ開設シ依テ出席議決權ノ多數ヲ以テ第一總會ノ假決議ヲ認可シ

一明治三十三年九月五日監査役美福龍彦富本省吾清水生種滿期ニ付選舉ノ爲メ山口町字
新町東屋ニ於テ臨時株主總會ヲ開設シタル所其結果美福龍彦佐々木一太郎林春逸當選
就任セリ

一明治三十三年九月十七日改換監査役ノ登記ヲ山口區裁判所ニ申請セリ

一明治三十三年十二月六日本會社移轉ニ付登記ノ變更ヲ山口區裁判所ニ申請セリ
右之通ニ候也

明治三十四年一月

日本齒製造株式會社

營業景況

抑も本季中廢鐵販賣總額金ハ壹千拾百八圓六拾四錢七厘ニシテ此利益金壹百六拾九圓六拾九錢五厘ヲ得タリ然レト雖も前季ノ損失金壹百拾參圓五拾九錢七厘ヲ填補セタルガ爲メ僅ニ五拾六圓九錢八厘ノ純益ヲ殘スニ至レリ故ニ株主諸氏ノ満足ヲ表セラルハ報告ヲ爲レ備ハサルハ實ニ遺憾ノ至ニ堪ヘザル次第ナリ然ルニ本季中充分ノ販路擴張ヲ爲キ、イレハ費用ノ許サザルコト一ハ本季中多少ノ利益ヲ生セリメント欲スルノ点ニアリテ費用ヲ節減シ徐々的ニ擴張シタルヲ以テ損失ヲ生セザリシハ聊カ祝スベキノ至リナリ然レ而レテ製品ノ品位優等ハ至ル所ニ稱讚ヲ得需要ノ途大ニ有望ナルヲ以テ經費ノ許ス限リハ充分ニ販路擴張ニ力ヲ注ギタル其曉ハ尙一層ノ利益ヲ得ベト欲スルノ感有之併し後季ニ於テハ株主諸氏ガ聊カ満足ヲ表セラルハノ報告ヲ見ルコト信ス

明治三十四年一月

日本廢鐵製造株式會社

第三回(自明治三十三年一月至全 年十二月)營業報告

負債ノ部

金壹萬九千圓

金百六拾六圓

金五拾六圓九錢八厘

合計金壹萬五千貳百貳拾貳圓九錢八厘

資產ノ部

金六千五百參拾四圓

金百五拾九圓七拾五錢壹厘

金參千四百拾六圓參拾八錢五厘

金千七百六拾八圓六錢七厘

金千貳百四拾圓參拾九錢壹厘

常備金

株主入金

債入金

當季純益

株主金

株主金

株主金

株主金

株主金

株主金

株主金

一 金貳千圓

一 金百七拾貳圓五拾錢四厘

合計金壹萬五千貳百貳拾貳圓九錢八厘

財產目錄

一 金六千五百參拾四圓

一 金百五拾九圓七拾五錢壹厘

一 金貳千四百四拾六圓參拾八錢五厘

一 金千九百六拾八圓六錢七厘

一 金千貳百四拾圓參拾九錢壹厘

一 金貳千圓

一 金百七拾參圓五拾錢四厘

合計金壹萬五千貳百貳拾貳圓九錢八厘

利益勘定ノ部

商權讓受

營業什器

株金未拂額

金銀有高

原料及製品

拼賣代未收入

削業費

商權讓受

營業什器

一 金八百七拾壹圓拾七錢四厘

一 金拾參圓四拾五錢

一 金四拾四錢

合計金八百八拾五圓六錢四厘

損亡勘定ノ部

一 金五百拾壹圓拾六錢五厘

一 金四圓貳拾錢四厘

一 金貳百拾參圓五拾九錢七厘

合計金八百貳拾八圓九拾六錢六厘

差引

金五拾六圓九錢八厘

內

金五拾六圓九錢八厘

商品賣上ノ利益

雜益

手数料

營業費

代金直引

前季損失金

純益金

后季繰越

一金五百拾壹圓拾六錢五厘

内 庫

金百兩拾四圓

金百兩拾九拾九錢

金百兩拾四圓七拾錢四厘

金百兩拾四圓拾七錢

金百兩六圓拾錢

金百兩拾四圓拾錢八厘

金百兩四圓拾錢

金百兩七錢五厘

右之通ニ相違無之候也

明治三十四年一月三十一日

日本磨齒製造株式會社

營業費

給料

旅費

廣告料及通信費

宿直料及雜色

家賃及修繕費

消耗品

運賃

荷具費

取締役

兒玉良友

全

信吉五朗

全

河北勘七

全

吉富寅太

全

柏木幸助

支配人

桂 壽吉

右監査ヲ遂ケ其正確ナルヲ證明ス

全月全日

監査役

美 藤 龍彦

全

林 春 彦

全

佐々木 一太郎

趣意書

夫レ齒磨ハ吾人衛生ノ門戸タル口中攝生ノ要具ナリ社會ノ進步治ク衛生ヲ重ズルノ念慮ヲ喚起シタル結果トシテ齒磨ノ需用近時頗ニ増加ヲ來シ之ヲ東京大坂八大製造家ニ就テ調査スルニ現今壹ケ年ノ産額貳拾八万參千餘圓ノ多キニ達ス若シ夫レ彼ノ廉價競賣ヲ專一トスル幾百千ノ小製造家所産ノモノヲ積算シ來ラハ壹ケ年ノ需用實ニ壹百万圓以上ニ達スヘシ之ヲ陸軍ニ就テ例證スルニ假リニ一軍人壹ケ年六拾錢ノ需用アリトセシカ一師團ノ兵員壹万貳千ナルヲ以テ七千餘圓ノ物品ヲ要シ七師團ニ於テ五萬圓餘ノ需用アリ況ヤ師團増設ノ舉アルヲヤ將來ノ需用夫レ層一層多キヲ加ヘシ其他一般國民衛生的觀念ノ發達ト生活程度ノ進歩ハ既ニ數年間ニ於テ著シク之ガ需用ヲ

増加ス殊ニ煉製齒磨ノ如キハ其價ノ高貴ナルニモ拘ハラズ此二三年ニ驚クベキ需用ヲ増加シ來レリ斯ノ如クニシテ日遷月移ス將來一層甚シキ比例ヲ以テ増加シ行カンニハ大ニ賭ルヨリモ明カニシテ前途愈々有望ノ事業タルト毫モ疑ヒテ容レサル所ナリ況ンヤ近來本品ノ支那朝鮮地方へ輸出ハ頗ル多額ノ者ニシテ我政府モ亦輸出獎勵ノタメ幾キニ關稅免除ノ恩典ヲ與ヘリ此機ニ投シテ海外ニ販路ヲ擴張スルノ切要ナル亦言ヲ俟タサル所豈ニ小資本ヲ懷キ小事業ニ甘シスルノ秋ナランヤ

縣下吉敷縣嘉川村藥劑師井東久太郎ガ明治貳拾壹年以來熱心ニ製造販賣スル東洋齒磨富士の峰ハ創業者ガ多年ノ學理ト實驗ニ徹シ衛生上經濟上最も適當ナル法ヲ撰擇シタルモノニシテ其品質ノ精良ナル

之ヲ內務省衛生局試驗報告ニ徴シ將タ第三第四內國勸業博覽會ノ審查ニ依ルモ明確ニシテ今ヤ聲價大ニ昂リ販路殆ンド全國ニ普及シ年々ノ產額五六千圓ニ達スト雖モ需用ノ多キ之ガ十一テ供給スル能ハズ茲ニ於テカ吾輩創業者ト熟議シ幸ニ地方諸大家ノ贊助ヲ得テ日本磨齒製造株式會社ヲ創立シ該業ヲ譲リ受ケ大ニ規模ヲ擴張シテ彼ノ坊間流布スル磨製粗造ノ齒磨ヲ排斥シ衛生ニ適應スル所ノ良品ヲ供給シ漸次進ンデ海外ノ輸出ニ力ヲ盡シ國益ノ一端ヲ收メテ俱ニ共ニ其慶ニ賴ラント欲ス若シ夫レ其規模取支等ノ事ニ至リテハ創業者ガ既往八ヶ年間斯業ニ熱達セン實驗調査ニ係ル目論見書及ヒ假定欸ニ詳カナリトス殊ニ創業者ハ明治貳拾五年五月農商務省特許局ヨリ往キ貳拾ヶ年間商標專用權ノ登錄ヲ得タルヲ以テ毫モ他人ノ侵害ヲ蒙

ムルノ憂ナシ伏テ希クハ大方ノ同志諸君ヨリ奮テ贊成加盟シ國家ノ爲
メ斯業ノ發達ヲ希圖セラレシコト切望ニ堪ヘザルナリ

發起人

明治三拾年三月

井東久太郎
富永省吾
柏木幸助
田邊音松
野村安右衛門
江村利兵衛
八木慶太郎
岸田吾郎

綠谷喜兵衛
東谷雅輔
富永利平
安部半助
宮竹三郎

日本磨齒製造株式會社發起認可申請

山口縣下周防國吉敷郡嘉川村藥劑師井東久太郎ガ明治廿一年以來製造販賣スル磨齒富士の峰ハ義ニ第三回第四回内國勸業博覽會ヨリ褒狀モ下賜相成隨テ其品質モ佳良ニシテ已ニ世上ノ信用ヲ得相應ニ販路モ有之候ニ付テハ今般私共同志者協謀ノ上山口縣下周防國吉敷郡山口町ニ日本磨齒製造株式會社ヲ設置シ該品製造販賣ノ業ヲ譲リ受ケ此際尙ホ一層業務ヲ擴張致度目的ヲ以テ各項取調ヘ候處營業上相當ノ利益アルハ勿論自然地方殖産ノ一端トモ可相成ニ付特別ノ御詮議ヲ以テ本社設立ノ義御認可被成降度別冊目論見書及假定款相添ヘ發起人連署ヲ以テ此段申請候也

明治三十三年三月

發起人

山口縣周防國吉敷郡嘉川村第八百六拾番屋敷

井東久太郎

廣島縣廣島市鹽屋町第貳拾八番邸

富永省吾

山口縣周防國佐波郡三田尻村第七百五拾五番屋敷

柏木幸助

廣島縣廣島市横町第三番邸

田邊音松

山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾八番屋敷

野村安右衛門

全縣全國全郡小郡村第七百五拾九番屋敷

江村利兵衛

全縣全國全郡鑄錢司村第四百五拾六番屋敷

八木慶太郎

全縣全國全郡嘉川村第九百四拾貳番屋敷

岸田吾郎

全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷

綠谷喜兵衛

全縣長門國阿武郡萩町第九百七拾九番屋敷

東谷雅輔

全縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾番屋敷

富 永 利 平

全縣全國全郡全町大字道場門前町第六拾六番屋敷

官 竹 三 郎

全縣全國全郡全町大字全町第七拾壹番屋敷

安 部 半 助

農商務大臣子爵樺本武揚殿

日本磨齒製造株式會社創立目論見書

第一本社組織

本社ノ組織ハ株式會社トス

第二 目的

本社ハ齒磨製造販賣ヲ以テ營業トナス

第三 社名及營業所

本社ハ日本磨齒製造株式會社ト稱シ營業所ハ山口縣周防國吉敷郡山口町大字道場門前町第七拾壹番屋敷ニ設置ス

第四 資本金

本社ノ資本金ハ貳萬圓トシ之レヲ千株ニ分テ壹株ノ金額ヲ貳拾圓トス

第五 資本使用ノ概算

一金貳萬圓

資本金高

内譯

金壹万六千圓

運轉資本金

金參千圓

商權讓受償金

金五百圓

器械及備品費

金五百圓

本社創立費

收支豫算

本社ノ收支豫算ハ左ノ如シ

收入豫算

一金四万貳千四百八圓

收入

但壹ヶ年間製品販賣高

支出豫算

金參万八千四百八圓

支出

内譯

金貳万七千七百貳拾九圓參拾貳錢

製品原價

金九千百六圓

營業費

金千五百^六拾貳圓六拾八錢

豫備費

損益勘定豫算

本社ノ損益勘定豫算左ノ如シ

一金四万貳千四百八圓

収入

内

金參万八千四百八圓

支出

差引

金四千圓

益金

内

金四百圓

準備金

但シ益金百分ノ拾

金壹千圓

賞與金

但シ益金百分ノ貳拾五内百分ノ拾役員賞與百分ノ拾五製造主任者賞與

金貳千六百圓

株主利益配當

但シ益金百分ノ六拾五資本金ニ對シ壹ヶ年壹割三步

第六 發起人ノ氏名住所及ヒ發起人各自ノ引受クル株數

發起人引受株左ノ如シ

引受株數	金	類	住	所	氏	名
六拾株	千貳百圓	圓	山口縣廣防縣吉原郡嘉井村第八百六拾番地敷		井原久太郎	
五拾株	千圓	圓	廣島縣廣島市鹽田町第八番邸		嘉永省吾	
五拾株	千圓	圓	山口縣廣防縣佐波郡三田尻村第七百五拾五番地敷		柏木幸助	
五拾株	千圓	圓	廣島縣廣島市橋町第三番邸		田邊曾極	
四拾株	八百圓	圓	山口縣廣防縣吉原郡山口町大字大井町第八番邸敷		野村安右衛門	
四拾株	八百圓	圓	全縣全縣全縣小郡村第七百五拾九番五番地敷		江村利兵衛	
四拾株	八百圓	圓	全縣全縣全縣小郡村第七百五拾九番五番地敷		八木重太郎	
四拾株	八百圓	圓	全縣全縣全縣全縣第九百貳拾八番番地敷		森谷省兵衛	
四拾株	八百圓	圓	全縣全縣全縣全縣第九百貳拾八番番地敷		岸田吾郎	

參拾肆 六百四

今縣委門國阿武肅裝財銀九百七拾九兩
厘散

東谷撰

參拾肆 六百圓

今縣防區各營寨山口關大埠大市壘壘
或拾壹里或

富永利平

參拾株 六百圓

全縣之福全縣全縣大字道林門前助糧六
拾六萬里數

宮竹三 95

雞拾種 六百四

全職公職全職全職大守全職費七拾壹元

安西半助

第七 存立時期

本社存立期限ハ設立免許ノ日ヨリ滿貳拾ケ年間トス
右日本磨齒製造株式會社創立目論見書前書之通候也

明治三拾年三月

發起人

山口縣周防國吉敷郡嘉川村第八百六拾番屋敷

井東久太郎

廣島縣廣島市鹽屋町第二拾八番邸

富永省吾

山口縣周防國佐波郡三田尻村第七百五拾五番屋敷

柏木幸助

廣島縣廣島市横町第三番邸

田邊音松

山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第廿八番屋敷

野村安右衛門

全縣全國全郡小郡村第七百五拾九番屋敷

江村利兵衛

全縣全國全郡鑄錢司村第四百五拾六番屋敷

八木 慶太郎

全縣全國全郡嘉川村第九百四拾貳番屋敷

岸 田 吾 郎

全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷

綠 谷 喜 兵 衛

全縣長門國阿武郡萩町第九百七拾九番屋敷

東 谷 雅 輔

全縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾番屋敷

富 永 利 平

全縣全國全郡全町大字道場門前町第六拾六番屋敷

宮 竹 三 郎

全縣全國全郡全町第七拾壹番屋敷

安 部 半 助

日本磨齒製造株式會社假定款

商法ヲ遵奉シ日本磨齒製造株式會社發起人熟議之上決定スル所ノ假定款左之如シ

第一章 總則

第一條 本會社ノ組織ハ株式會社トス

第二條 本會社ハ磨齒製造販賣ヲ以テ營業トナス

第三條 本會社ハ日本磨齒製造株式會社ト稱ス

第四條 本會社ハ其本社ヲ山口縣周防國吉敷郡山口町大字道場門前

町第七拾壹番屋敷ニ設置ス

第五條 本會社存立時期ハ設立免許ノ日より滿貳拾ケ年トス

但シ營業滿期ノ後ハ株主總會ノ決議ニ任ス

第六條 本會社ノ資本金總額ハ金貳萬圓トス

第貳章 株式及ヒ株主名簿

第七條 本會社ノ株式ハ壹株金貳拾圓トシ其株數ヲ千株トス

第八條 株主名簿ニハ左ノ事項ヲ登記ス

第一 各株主ノ氏名住所

第二 各株主所有ノ株式ノ數及株券ノ番號

第三 各株式ニ付拂込タル金額

第四 各株式ノ取得及譲渡ノ年月日

第九條 本會社ノ株式ハ壹株毎ニ株券壹通ヲ發行スルモノトス

但株券ハ金額拂込以前ニ於テハ假株券ヲ發行シ全額完納ノ後ニ至リ本株券ヲ發行ス

第拾條 本會社ノ本株券及ヒ假株券ノ難形ハ左ノ如シ

株券難形

第何號

印紙

日本磨齒製造株式會社株券

一壹株

氏名 殿

表 此金額貳拾圓

右記名者日本磨齒製造株式會社ノ定款ヲ遵守シ本會社株式ノ内壹株即貳拾圓ノ持主タルヲ相違ナキ證據トシテ此株券ニ本會社ノ印章ヲ押捺シテ之レヲ交附スル者也

此株式ヲ賣買譲受渡セントスルハ本會社ハ此株券ヲ持參スベシ本會社ニ於テハ相當ノ檢査ヲ遂ケ此株券裏面對

面

割内へ専務取締役記名調印シ之レヲ還附スベシ

年 月 日

社 印

日本磨齒製造株式會社

専務取締役 氏 名 印

裏

年 月 日 賣渡人記名調印 買受人記名調印 買主 人 住 所 専務取締役記名調印

面

假株券雛形

印 証 第何號

日本磨齒製造株式會社假株券

一壹株

氏名 殿

此金額貳拾圓

表

拂込	金額	年月日	専務取締役印
第一回	金額	明治 年 月 日	拂込
第二回	金額	明治 年 月 日	金額
第三回	金額	明治 年 月 日	明治 年 月 日
第四回	金額	明治 年 月 日	明治 年 月 日

右記名者日本磨齒製造株式會社ノ定款ヲ遵守シ本會社株式ノ
 内壹株即廿圓引受タルヲ相違ナキ證據トシテ此株券ヲ付與ス
 拂込金ヲ爲ス時ハ此株券ヲ其都度本會社ヘ持參スベシ本會社
 ハ領取セシ證トシテ金額并年月日ヲ記入シ之ニ専務取締役印
 ヲ押捺スベシ追テ全額入金ノ上ニテ本株券ト引換ベキ者也
 但此株式ヲ買讓受セントスルハ此株券裏面割内ヘ賣讓
 渡人ノ氏名及ヒ買讓受人ノ氏名住所ヲ記シ買讓受人共ニ調
 印シテ本會社ヘ持參スベシ本會社ニ於テハ至當ノ検査ヲ遂

面

ゲ専務取締役捺印ノ上所有ノ移轉ヲ證明スベシ

明治 年 月 日

社 印

日本磨齒製造株式會社

専務取締役 氏 名 印

裏

年月日	買渡人記名調印	買受人記名調印	買受人住所	専務取締役記名調印

面

[illegible]

第十一條

第十一條 本會社ノ株式ヲ賣買譲受渡セシトスル并ハ其株券又ハ假
株券ノ裏面ニ賣買譲受渡人記名調印シ而シテ双方連印ノ株式賣買
譲受渡證書ヲ添ヘ之レヲ本會社ニ差出シ名義書換ノ登記ヲ求ムベ
シ本會社ハ之レヲ株主名簿ニ登記シ專務取締役之ニ記名調印シテ

[illegible]

其移轉ヲ證スベシ若シ株主死去シ其相續人又ハ受遺贈者ヨリ名義書換ヲ請求スルハ親族又ハ本會社ニ於テ適當ト認メタル貳名以上ノ保證人ヲ立ツベレ

但本會社ニ於テ必要ト認メタルハ市區町村長ノ證明書又ハ其權利移轉ノ證書ヲ差出サシムルコアルベレ

第十二條 本會社ハ株式名義書換手数料トシテ株券壹通ニ付金五錢ヲ徴收ス

第十三條 株券ヲ損傷シタルハ申出ニ從ヒ損傷券引換ヘニ新券ヲ交附スヘシ若シ紛失燒亡レタルハ貳人以上ノ保證人連署ノ上其番號枚數及ヒ亡失シタル理由ヲ本會社ヘ申出スヘシ本會社ハ本人ノ費用ヲ以テ直ニ其旨ヲ壹週間以內新聞紙ニ廣告シ滿三十拾日闕シ

經テ尙ホ發見セザルハ新券ヲ交附スベシ

但新券ヲ交附スルハ壹通ニ付金貳拾錢ノ手数料ヲ徴收ス

第十四條 本會社ハ株主名簿及ヒ計算閉鎖ノ爲メ事業年度毎ニ三十日以內株式賣買譲受渡ノ登記ヲ停止ス

但其停止期限ハ豫メ新聞紙ニ廣告スベシ

第三章 株金拂込

第十五條 本會社ノ株金拂込ハ四回ニ分チ壹株ニ付壹回金六圓ヨリ多カラザル金額ヲ拂込モノトス

但株金拂込期日及金額ハ少クモ三週間前ニ各株主ニ通知スベシ

第十六條 株主ニ於テ株金ノ拂込ヲ怠リタルハ其拂込期限ノ翌日ヨリ現在拂込迄其延滞金百圓ニ付壹日金參錢ノ割合ヲ以テ遅延利

息ヲ支拂ハシムヘシ

第十七條 株金拂込ノ期日迄ニ其拂込ヲ爲サザル者アルハ更ニ三週間ヨリ少カラサル期日ヲ定メ催告ヲナシ尙入金セサルハ其株主ニ通知シテ其株式ヲ公賣ニ付シ其代金ヲ以テ延滞セル拂込金及其利息并ニ之レカ爲メ生シタル諸費途ノ償還ニ充テ尙不足アレバ之レヲ徴收シ若シ餘贏アラハ之レヲ返附スヘシ

第四章 取締役及監査役

第十八條 本會社ニ取締役五名監査役三名ヲ置ク

第十九條 取締役及監査役ハ本會社ノ株式拾株以上ヲ所有スル者ノ内ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第二十條 本會社ノ取締役ハ其任期中所有ノ株式拾株ヲ本會社ニ預

ケ置ベシ本會社ハ其融通ヲ禁ズル爲メ封印シテ之レヲ領置ス

第二十一條 本會社ノ取締役ハ參ケ年監査役ハ貳ケ年ヲ以テ任期トス

但再撰ニヨリ重任スルコヲ得

第二十二條 本會社ノ取締役及監査役ハ何時ニテモ臨時總會ノ決議ヲ以テ之レヲ改撰スルコヲ得

第二十三條 本會社ノ取締役ハ總テ本會社ノ事務ヲ代理シ業務一切ヲ擔當ス

第二十四條 本會社ノ取締役中ヨリ互撰ヲ以テ主トシテ業務ヲ取扱フベキ專務取締役壹名及製造主任者壹名ヲ撰定ス

但製造主任者ハ取締役中ニ於テ適任者ヲ得ザルハ取締役協議

ノ上他ニ之レヲ撰任スルコトアルベシ

第二十五條 本會社ノ監査役ハ取締役カ業務施行ノ適否ヲ監視レ諸計算書及事業報告書等ヲ檢査シテ株主總會ニ報告ス

第二十六條 本會社ノ取締役及監査役ノ報酬額ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之レヲ定ム

第二十七條 本會社ノ取締役及監査役ニ欠員ヲ生シタルキハ臨時總會ヲ開キ補欠員ヲ撰舉スベシト雖モ其法定ノ人員ヲ欠カス旦ツ事務ニ差支ナキ限りハ次期ノ改選期迄猶豫スルコトヲ得

但補欠員ハ其前任者ノ殘任期間在職スル者トス

第五章 株主總會

第二十八條 本會社ノ株主總會ハ通常總會臨時總會ノ二種トス

第二十九條 本會社ノ通常總會ハ毎年一月之レヲ開ク

第三十條 本會社ノ臨時總會ハ取締役若クハ監査役ニ於テ必要ト認ムルキ之レヲ招集ス又總株金ノ五分ノ壹以上ニ當ル株主ヨリ事件目的ヲ示シ會議ノ召集ヲ請求シタルキハ取締役ハ少クモ壹週間内ニ招集ノ手續ヲナスベシ

第三十一條 本會社ノ株主總會ヲ開クハ少クモ十四日以前ニ其會議ノ目的事項并ニ開會ノ時日場所ヲ記載シ各株主ニ通知スベシ

第三十二條 本會社ノ通常總會ニ於テハ取締役及ヒ監査役ヨリ報告スル計算書財産目錄貸借對照表事業報告書配當金分配案ヲ決議スルノ外他事ニ涉ルコトヲ得ス

第三十三條 本會社株主總會ノ會頭ハ事務取締役之レニ任ズ若レ專

務取締役差同アルハ他ノ取締役之レニ代リ取締役總テ差同アル
ハ出席株主中ヨリ之レヲ撰舉スベシ

第三十四條 本會社ノ株主總會ハ株主總員ノ拾分ノ壹以上ニシテ總
株金ノ四分ノ壹以上ニ當ル株主出席シ其決議權ノ過半數ニ依テ決
ス若レ可否相半スルハ定款ノ變更任意解散ノ場合ヲ除キ會頭ノ
裁決ニ順フ然レモ此定款變更ノ決議ヲ爲サントスルハ株主總員
ノ半數以上ニシテ總株金ノ半數以上ニ當ル株主出席スルニ非ザレ
バ株主總會ヲ開クコヲ得ズ又本會社ノ解散ヲナサントスルハ株
主總員ノ半數以上ニシテ總株金ノ四分ノ三以上ニ當ル株主出席ス
ルニ非ザレバ株主總會ヲ開クコヲ得ス

第三十五條 本會社ノ株主總會當日ノ出席員定數ニ充タザルハ其

總會ニ於テ假ニ決議ヲ爲シ其決議ヲ總株主ニ通知シテ再ビ總會ヲ
招集ス其通知ニハ若シ第一ノ總會ニ於テ出席議決權ノ多數ヲ以テ
第一總會ノ決議ヲ認可シタルハ之レヲ有効トナスベキ旨ヲ明告
スルコヲ要ス

第三十六條 本會社ノ株主若シ株主總會ニ出席シ難キハ本會社役
員ニ非ザル株主中ノ者ニ委任狀ヲ交付シ代理出席セシムルコヲ得
第三十七條 本會社ノ株主總會ニ於ケル決議權ハ拾株迄ハ壹株ヲ以
テ壹個トシ拾壹株以上五十株迄ハ五株毎ニ壹個ヲ増シ五拾壹株以
上ハ拾株毎ニ壹個ヲ増スモノトス

但代理委任狀ヲ所持スル者モ本條ヲ適用ス

第三十八條 株主ハ住所及ヒ印鑑ヲ本會社ニ届出シヘシ其氏名住所

又ハ印章ヲ變更シタルモ亦同シ

第三十九條 本會社定款ノ各條ニ明文アルモノ、外左ノ事項ハ臨時總會ヲ招集シテ決議スルヲ要ス

第一 定款ヲ變更スル事

第二 債券ヲ發行シ又ハ會社財産ヲ擔保トシテ債務ヲ負ヒ及ヒ之レヲ辨濟スル事

第三 會社解散ノ事

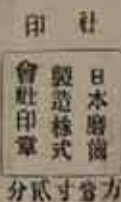
第六章 計算

第四十條 本會社ノ總勘定ハ壹月ヨリ拾貳月迄ヲ壹期トシ翌年一月ニ壹ケ年間ノ出納ヲ精算シ計算書財産目錄貸借對照表事業報告書配當金分配案ヲ作り總會ノ決議ニ付スルモノトス

第四十一條 本會社毎季營業純益金ノ内百分ノ拾ヲ準備積立金トナシ百分ノ拾ヲ役員賞與金ト爲シ百分ノ拾五ヲ製造主任者賞與金ト爲シ百分ノ六拾五ヲ株主配當金ニ充ツ

第七章 雜則

第四十二條 本會社ノ印章ハ左ノ如シ



第四十三條 本會社ノ定款及ヒ規則類ノ改正官廳ヘノ諸願伺屆職員ノ變更株主總會ノ議決營業上ノ要件ハ悉ク記錄ヲ以テ之レヲ保存シ且每期諸計算ヲ明ニシ考課狀ヲ製シ株主ニ報告スヘシ

第四十四條 本會社ニ於テ官廳ニ對スル諸願届及營業上ノ諸約定往復文書等ニハ凡テ本會社ノ名ヲ用ヒ社印ヲ押捺スベシ
右日本磨齒製造株式會社假定欸前書之通候也

明治三十三年三月

發起人

山口縣周防國吉敷郡嘉川村第八百六拾番屋敷

井 東 久 太 郎

廣島縣廣島市壘屋町第貳拾八番邸

富 永 省 吾

山口縣周防國佐波郡三田尻村第七百五拾五番屋敷

柏 木 幸 助

廣島縣廣島市横町第三番邸

田 邊 音 松

山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾八番屋敷

野 村 安 右 衛 門

全縣全國全郡小郡村第七百五拾九番屋敷

江 村 利 兵 衛

全縣全國全郡鑄錢司村第四百五拾六番屋敷

八 木 慶 太 郎

全縣全國全郡嘉川村第九百四拾貳番屋敷

岸 田 吾 郎

全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷

綠谷嘉兵衛

全縣長門國阿武郡萩町第九百七拾九番屋敷

東谷雅輔

全縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾番屋敷

富永利平

全縣全國全郡全町大字道場門前町第六拾六番屋敷

宮竹三郎

全縣全國全郡大字全町第七拾壹番屋敷

安部半助



郵便はかき

此表面にハ宿所姓
名を限り認むへし

山形縣吉敷郡土崎町
本間源三郎殿



拜呈信々御清適奉賀美陳者當會社
開業式本月十六日舉行仕至就御多
忙中恐入至得共同日正午會場(當會社
事務所)御臨席被成下度此段御案内
申上矣 勿々敬具

山口道場門前町

三十一年
四月十一日 日本磨齒製造株式會社

拜啓陳ハ今般會社實務機關ノ收長ト新商法實施ノ結
果ニヨリ當會社定款變更ヲ要スル廉有之來ル八月十
三日午後二時當會社内ニ於而臨時株主總會開設可致
ニ付萬障御繰合御來社被成下度此段及御通知候也
追而萬一集會者小數ニテ流會相成ル如キト有之候
時ハ會社之組織法律ニ違犯レ爲ニ不測ノ迷惑ニ陷
リ候間御差問ノ御方ハ別紙ニヨリ必ス株主内へ御
委任有之度爲念申添候也

明治三十二年七月三十日

日本磨齒製造株式會社

本石原身
殿

自方吳情也
世有全才者
為經師者
亦難得也

日本磨齒製造株式會社第二回通常總會決議書

明治三十三年一月二十七日日本會社第二回通常總會ヲ山口町山部ニ於テ開ク當日出席株主定數ニ滿タルヲ以テ同日午後三時開會セリ當日決定セレ各項左ノ如シ

第一項

別紙第壹號ノ如シ

本會社第二回事務報告

第二項

別紙第二號ノ如シ

本會社第二回營業狀況

第三項

別紙第三號ノ如シ

本會社第二回自明治三十二年一月至十二月營業報告

以上

右之通認定スル所相違無之茲ニ記名スルモノ也

明治三十三年一月二十七日

出席株主

兒玉真友

委任出席者

美福龍彦
阿曾沼郎
井上薰桃
清水生輔
岸田忠治
岩根保祐
山根谷鶴
木村照次郎
柏木幸助
桂 梅吉
吉富寅太
岩根五郎

三好琴梧
富永省吾
徳田謙甫
吉村多三郎
彌重半次郎
彌重養介
堀山潤作
宮川臣吉
山田和吉
萬代利七
江村利兵衛
八木慶太郎
兒玉鬼一郎

工藤孝四郎
松崎仙之助
末廣福治郎
上田肇二
荒川信介
西村孝太郎

第一號

第二回事務報告日本磨齒製造株式會社

一明治三十二年一月ヨリ全年十二月ニ至ル本會社ニ於テ實際施行シタル業務ノ額未及諸
勘定ヲ精査シ以テ各位ニ報告スルコト左ノ如シ

所務要件

一明治三十二年一月三十一日本會社内ニ於テ株主總會ヲ開キ第一回營業ノ報告ヲナシ引
續定款變更之件即チ實本金總額ヲ壹萬五千圓株數ヲ七百五拾株ニ減額シ并ニ監査役補
欠選舉ヲナセリ

一全年六月廿四日本會社解散之件ニ付臨時株主總會ヲ開キシモ出席者少數ニ依リ自然販
消之議決ナラセリ

其結果該請求ヲ撤回セシメタル

一本年七月十日臨時株主總會ヲ開設セリ其結果監査役ニ兒玉真友 吉富
寅太、濱吉五郎、柏木幸助、監査役ニ清水生福當選セリ

一 全額八月十三日定款變更ノ件ニ付臨時株主總會ヲ開設セリ其結果原案ニ決ス

一 全年九月廿六日販荷投監査役及支配人ノ登記ヲ登記所ニ申請セリ

一 全年九月廿六日登録商標讓受ノ登録請求書ヲ農商務省特許局長ニ差出シタリ

一 全年十一月十一日特許局長ヨリ商標專用權ヲ讓リ受ケタルノ登録商標ヲ受領セリ

右之通ニ候也

明治三十三年一月廿七日

第二號

營業景況

本年度商標賣捌總額金ハ貳千五拾七圓九拾九錢四厘ニシテ此利益金總百貳拾六圓四拾六錢四厘ヲ得タリ然リト雖モ前年度損失金六百四拾圓六錢壹厘ヲ補ヒタルカダモ當季損失金參百拾參圓五拾九錢七厘ヲ生セリ故ニ利益ノ配當ニ至ラザリトハ遺憾トスル所ナリ
抑モ本季初期ニ於テ未拂株金及内部整理等ニ殆ソト三ヶ月ヲ經過シ漸ク大抵其他各地受賣者ニ對シ販路擴張ニ着手中ノ所偶々五月廿四日本會社解散問題提出ノ不幸ニ際シ忽チ該受賣者ノ信用ヲ傷ケ一時事業中止ノ姿ナリト爾來挽回策ニ盡力セシモ既ニ化粧品賣ノ時機ヲ失ヒ遂ニ拂々敷取引スルコトヲ得ス故ニ株主諸氏ノ満足ヲ表セザルハ報告ナリト能ハサルハ頗ル遺憾トスル所ナリ然リト雖モ品質ノ高評ハ至所ニ存在セシキ以テ后季ニ於テハ尙一層利益ノ收得ヲ見ルコトハ信ス

第三號

日本磨齒製造株式會社

第二回(自明治三十三年一月一日起至全
年十二月)營業報告

負債ノ部

一金壹萬五千圓

一金壹百六拾六圓

合計金壹萬五千百六拾六圓

資產ノ部

金六千五百參拾四圓

金百八拾壹圓貳拾六錢壹厘

金參千百六圓八拾貳錢貳厘

金千六百六拾五圓五拾六錢貳厘

金貳千圓

株 金

借 入 金

株金拂込未済額

金 銀 有 高

原料及製品

賣掛代金

商標讓受金

金百貳拾四圓參拾六錢七厘
金千貳百四拾圓參拾九錢壹厘
金參百拾參圓五拾九錢七厘
合計金壹萬五千百六拾六圓

財產目錄

金六千五百參拾四圓
金百八拾壹圓貳拾六錢壹厘
金參千百六圓八拾貳錢貳厘
金千六百六拾五圓五拾六錢貳厘
金貳千圓
金百貳拾四圓參拾六錢七厘
金千貳百四拾圓六拾九錢壹厘
合計金壹萬四千八百五拾貳圓四拾錢參厘

營業什器
創業費
當季純損

株金押込未償額
金銀有高
原料及製品
賣掛代金
商權讓受
營業什器
創業費

利益勘定ノ部

金千貳百參拾五圓八錢

內 譯

金千貳百貳拾九圓參錢貳厘
金六圓四錢八厘
金參百拾參圓五拾九錢七厘
合計金千五百四拾八圓六拾七錢七厘

損亡勘定ノ部

金八百五拾八圓九拾六錢五厘
金壹圓八拾八錢
金七圓五拾四錢七厘
金四拾圓貳拾貳錢四厘
金百四拾圓六錢壹厘

當季收入高

商品賣上利益
銀益
當季損失

營業費
手数料
代金直引
支拂利子金
前季損失金

合計金壹千五百四拾八圓六拾七錢七厘
金八百五拾八圓九拾六錢五厘

内 訳

金貳百拾四圓四拾六錢八厘
金百九拾九圓九拾錢七厘
金百貳拾貳圓七拾錢六厘
金拾四圓參拾錢
金百四拾貳圓八拾八錢參厘
金百五圓九拾錢
金參拾九圓六拾錢七厘
金拾七圓四拾錢六厘
金貳圓貳錢
以上

營業費

給料
旅費
廣告料及通信費
重役貽費
宿直料及雜費
屋賃及修繕費
消耗品
運賃
荷具費

右之通相違無之候也

明治三十三年一月廿七日

日本磨齒製造株式會社

支配人	桂 梅吉
取締役	兒玉 真友
全	信吉 五郎
全	河北 勘七
全	吉富 寅太
全	柏木 幸助
監査役	美福 勘彦
全	清水 生輔

右監査手達之其正確ナルヲ證明ス

全月全日

五厘印
紙貼用

委任狀

拙者儀日本磨齒製造株式會社臨時總會へ出席可致客ノ處差
同ニ付同株主

ヲ以テ部理代人ト相定メ拙者

一明治卅年十月三日日本磨齒製造株式會社臨時總會ニ付拙者ニ關スル株
主權利義務一切ノ件

一決議書類へ代印ノ件

一代理者

取計ノ件

差間ノ節ハ全人ノ見込ヲ以テ他ノ株主へ委任

右代理ノ委任狀如件

府市

町村

番屋敷

明治卅年

月

府縣

町村

番屋敷

吉妻郡新井村
本間源三郎 收

郵便往復は
發信用

此表面ハ密所姓
名と限リ認むヘシ

拜啓倍々御清適賀上候陳へ本月三日當會社創業總會ニ於テ
撰定シタル取締役中柏木幸助富永利平監査役中兒玉良友安
部半助ノ四氏辭任ニ付該補欠撰舉ノ爲メ來十月三日午前八
時ヨリ山口後河原町上田秀輔方ニ於テ臨時總會開會致候間
萬障御操合御出席被成下度此段御通知申上候自然御差問之
向ハ返信用端書裏面ノ委任狀へ御捺印ノ上御發送被下度奉
希候 敬具 跡主 委任狀へ御捺印ノ上御發送被下度奉
希候 敬具 跡主 委任狀へ御捺印ノ上御發送被下度奉
希候 敬具 跡主 委任狀へ御捺印ノ上御發送被下度奉

明治卅年九月十七日

山口縣山口大市町第廿番地

日本磨齒製造株式會社創立事務所



郵便往復はかき

返信用

此表面ハ宛所姓
名を限り誤むべし



七都糸川村

本
召
源
三
郎
殿



郵便はかき

此表面ハ宿所姓
名を限り認むへし

通知書

一 本月十三日 本會社臨時總會ヲ本會社内ニ開會シ左之通

リ決議致候

一 取締役監查役撰舉之事

取締役

柏木幸助

右監查役ヲ辭シ當撰就任相成候

再撰 監查役

美禰龍彦

右當撰就任相成候

一 柏木幸助後任監查役補欠撰舉ハ三十

ニ於テ舉行ス

右決議致候間此段御通知致候也

明治三十一年十二月十五日

日本磨齒製造株式會社



牛那嘉川打

牛内源三郎取



郵便往復はかき

發信用

名を限り認むへし
宿所姓



拜啓倍々御清通奉賀候陳ハ今回當會社取締役井東久太郎監查役美禰龍彦辭任相成候ニ付該補欠撰舉其他ノ件ニ付來ル十二月十三日午後一時本社内ニ於テ株主臨時總會相開候條萬障御操合之上右時刻迄ニ御出席被下度此段及御通知候也

追テ欠席之御方ハ別紙委任狀へ御捺印之上必ラス御送附願上候尤モ取締役及ビ監查役へノ御委任ハ無効ニ付爲念申添候

山口縣山口道場門前町

明治三十一年十一月廿九日 日本磨齒製造株式會社

年乃建郎收

秋展



井原久吉郎
外見名



委任状

拙者義安部中帥ヲ以テ卸理代人ト相定、拙者名義、左ノ権限之事ヲ代理為政ス。

明治三十五年六月二十日、日本鑛山製造株式會社、於手開會、臨時總會議事、關シ、一切権理義、暫ク行フ。

一代理者 差支之節、同人之見、以テ他之株

主ハ承任、取計之件

右代理之委任狀如件

吉教 郡嘉川村第四百九番屋敷

明治三十五年六月廿四日

本間源三郎



直轄

陳師中羅廣正匡會

社臨時總會、付不不國

同會方合社員益上

開會改定章程、一月

通事總會後今日、

至、也欠損、世、上月

有、改、定、章程、一月

出席、席、多、合、意、

得、立、步、結、果、一、次

請求、重、撤、回、改、定、尚、亦

有、改、定、章程、一月

任、書、提、出、出、席、者、

亦、合、時、散、開、主、席、者、

亦、合、時、散、開、主、席、者、

亦、合、時、散、開、主、席、者、

亦合時之故國を以て
様々了る事と申すは
其の如き事と云ふ

追々先般の通りと云ふ
委任状に入付て通却
上りて査収と云ふ事
会社財産を付して
不肖者より移す元分、無調
り故に存念、此等事は
先考より中保人也
五月十日

井東久吉郎
孫谷長吉郎
白尾白雲郎

本名傳之郎殿
此へ

日本磨齒製造株式會社

運 意 書
發起認可申請
創立日論見書
假 定 款

趣意書

夫レ齒磨ハ吾人衛生ノ門戸タル口中攝生ノ要具ナリ社會ノ進步洽ク衛生ヲ重ズルノ念慮ヲ喚起シタル結果トシテ齒磨ノ需用近時頗ニ増加ヲ來レ之ヲ東京大板八大製造家ニ就テ調査スルニ現今壹ヶ年ノ產額貳拾八萬叁千餘圓ノ多キニ達ス若レ夫レ被ノ廉價熱賣ヲ專一トスル幾百千ノ小製造家所產ノモノヲ積算シ來テハ壹ヶ年ノ需用實ニ壹百萬圓以上ニ達スヘレ之ヲ陸軍ニ就テ例證スルニ假リニ一軍人壹ヶ年六拾錢ノ需用アリトセンカ一師團ノ兵員壹方貳千ナルヲ以テ七千餘圓ノ物品ヲ要セ七師團ニ於テ五萬圓餘ノ需用アリ況ヤ師團増設ノ舉アルヲヤ將來ノ需用夫レ層一層多キヲ加ヘン其他一般國民衛生的觀念ノ發達ト生活程度ノ進步ハ既ニ數年間ニ於テ著シク之ヲ需用ヲ

増加ス殊ニ煉製商磨ノ如キハ其價ノ高貴ナルニ拘ハラス此二三年ニ覺クメキ需用ヲ増加シ來レリ斯ノ如クコレヲ日遷月移ス將來一層甚シキ比價ヲ以テ増加レ行カンヲハ火ヲ賭ルヨリモ明カニレテ前途愈々有望ノ事業タルヲ毫モ疑ヒテ容レサル所ナリ況ンヤ近來本品ノ支那朝鮮地方ヘ輸出ハ頗ル多額ノ者ニレテ我政府モ亦輸出獎勵ノタメ曩キニ關稅免除ノ恩典ヲ與ヘリ此機ニ投シテ海外ニ販路ヲ擴張スルノ切要ナル亦言ヲ俟タサル所豈ニ小資本ヲ懷キ小事業ニ甘シスルノ秋ナラシヤ

縣下吉敷郡嘉川村藥劑師井東久太郎が明治貳拾壹年以來熱心ニ製造販賣スル東洋商磨富士の峰ハ創業者が多年ノ學理ト實驗ニ徴シ衛生上經濟上最も適當ナル法ヲ撰擇セタルモノニシテ其品質ノ精良ナル

之ヲ內務省衛生局試驗報告ニ徵シ將テ第三第四內國勸業博覽會ノ審查ニ依ルモ明確ニシテ今ヤ經價大ニ昂リ販路殆ンド全國ニ普及シ年々ノ產額五六千田ニ達スト雖モ需用ノ多キ之ガ十一ヲ供給スル能ハズ茲ニ於テカ吾輩創業者ト熟議シ幸ニ地方諸大家ノ贊助ヲ得テ日本磨齒製造株式會社ヲ創立シ該業ヲ譲リ受ケ大ニ規模ヲ擴張シテ彼ノ坊間流布スル醜製粗造ノ商磨ヲ排斥シ衛生ニ適應スル所ノ良品ヲ供給シ漸次進シテ海外ノ輸出ニ力ヲ盡シ國益ノ一端ヲ收メテ俱ニ共ニ其慶ニ賴ラント欲ス若レ夫レ其規模收支等ノ事ニ至リテハ創業者が既往八ヶ年間斯業ニ熟達セシ實驗調查ニ係ル目論見普及ヒ假定欸ニ

ムルノ憂ナレ伏ヲ希クハ大方ノ同志諸君ニ奮テ賛成加盟ノ國家ノ爲
メ斯業ノ發達ヲ希圖セラレシト切望ニ堪ヘザルナリ

發起人

明治三十年四月

井東久太郎

富永省吾

柏木幸助

田邊音松

野村安右衛門

江村利兵衛

八木慶太郎

岸田吾郎

絳谷喜兵衛

東谷雅輔

富永利平

安部半助

宮竹三郎

日本磨齒製造株式會社發起認可申請

山口縣下周防國吉敷郡嘉川村藥劑師井東久太郎が明治廿一年以來製造販賣スル磨齒富士の峰ハ魯ニ第三回第四回内國勸業博覽會ヨリ褒狀ヲ下賜相成圖々其品質モ佳良ニシテ已ニ世上ノ信用ヲ得相應ニ販路モ有之候ニ付テハ今般私共同志者協議ノ上山口縣下周防國吉敷郡山口町ニ日本磨齒製造株式會社ヲ設置シ該品製造販賣ノ業ヲ譲リ受ケ此際尙ホ一層業務ヲ擴張致度目的ヲ以テ各項取調ヘ候處營業上相當ノ利益アルハ勿論自然地方殖産ノ一端トモ可相成ニ付特別ノ御詮議ヲ以テ本社設立ノ義御認可被成降度別冊目論見書及假定欸相添一發起人連署ヲ以テ此段申請候也

明治三十三年四月六日

發起人

山口縣周防國吉敷郡嘉川村第八百六拾番屋敷

井 塚 久 太 郎

廣島縣廣島市鹽屋町第四拾八番邸

富 永 省 吾

山口縣周防國佐波郡三田尻村第七百五拾五番屋敷

柏 木 幸 助

廣島縣廣島市橋町第三番邸

田 邊 音 松

山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第八拾八番屋敷

野 村 安 右 衛 門

全縣全國全郡小郡第七百五拾九番屋敷

江 村 利 兵 衛

全縣全國同郡備前司村第四百五拾六番屋敷

八 木 慶 太 郎

全縣全國全郡嘉川村第九百四拾貳番屋敷

岸 田 吾 郎

全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷

綠 谷 喜 兵 衛

全縣長門國阿武郡萩町第九百七拾九番屋敷

東 谷 雅 輔

全縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第八拾番屋敷

富 永 利 平

全縣全國全縣全町大字直場門前町第六拾六番屋敷

宮 竹 三 郎

全縣全國全縣全町大字全町第七拾壹番屋敷

安 部 半 助

外務大臣兼農商務大臣伯爵大隈重信殿

日本磨齒製造株式會社創立目論見書

第一本社組織

本社ノ組織ハ株式會社トス

第二 目的

本社ハ磨齒製造販賣ヲ以テ營業トナス

第三 社名及營業所

本社ハ日本磨齒製造株式會社ト稱シ營業所ハ山口縣周防國吉敷郡山口町大字道場門前町第七拾壹番屋敷ニ設置ス

第四 資本金

本社ノ資本金ハ貳萬圓トシ之レヲ千株ニ分テ壹株ノ金額ヲ貳拾圓トス

第五 資本使用ノ概算

一金貳萬圓

資本金高

内 譯

金壹万六千圓

運轉資本金

金參千圓

商權讓受償金

金五百圓

器械及備品費

金五百圓

本社創立費

收支概算

本社ノ收支豫算ハ左ノ如シ

收入豫算

一金四万貳千四百八圓

收入

但壹々年間製品販賣高

支出豫算

一金參万八千四百八圓

支出

内 譯

金貳万七千七百貳拾九圓參拾貳錢

製品原價

金九千百六圓

營業費

金千五百七拾貳圓六拾八錢

豫備費

損益勘定豫算

本社ノ損益勘定豫算左ノ如シ

一金四万貳千四百八圓

収入

内

金參万八千四百八田

支 出

差引

金四千田

益 金

内

金四百田

準 備 金

但シ益金百分ノ拾

金壹千田

賞 典 金

但シ益金百分ノ貳拾五内百分ノ拾役員賞與百分ノ拾五製造主任

者賞與

金貳千六百田

株主利益配當

但シ益金百分ノ六拾五資本金ニ對シ壹ケ年壹割三歩

第六・發起人ノ氏名住所及ヒ發起人各自ノ引受クル株數

發起人引受株數ノ如シ

引受株數	住 所	氏 名
六拾株 千貳百圓	山口縣周防國吉敷郡高川村第八百六拾番屋敷	井 車 入 太 郎
五拾株 千圓	廣島縣廣島市總屋町第五拾八番邸	富 永 省 吾
五拾株 千圓	山口縣防府市廣成郡三田尻村第七百五拾五番屋敷	柏 木 幸 助
五拾株 千圓	廣島縣廣島市廣町第三番邸	田 邊 普 雄
四拾株 八百圓	山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第五拾八番屋敷	野 村 安 右 衛 門
四拾株 八百圓	全縣全國全郡小郡村第七百五拾九番屋敷	辻 村 利 兵 衛
四拾株 八百圓	全縣全國全郡高田村第四百五拾六番屋敷	八 木 慶 太 郎
四拾株 八百圓	全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷	藤 狂 喜 兵 衛
四拾株 八百圓	全縣全國全郡高川村第九百四拾貳番屋敷	摩 田 善 郎

參 柏 株	六 百 圓	全縣長門國阿武郡萩市第九百七十九番屋敷	東 谷 雜 種
參 柏 株	六 百 圓	全縣長門國萩市第九百七十九番屋敷	富 永 利 平
參 柏 株	六 百 圓	全縣長門國萩市第九百七十九番屋敷	宮 竹 三 郎
參 柏 株	六 百 圓	全縣長門國萩市第九百七十九番屋敷	安 部 宇 助

第七 存立時期

本社存立期限ハ設立免許ノ日ヨリ滿貳拾ケ年間トス
右日本磨齒製造株式會社創立目論見書前書之通候也
明治三拾年四月六日

發起人

山口縣周防國吉敷郡嘉川村第八百六拾番屋敷
井 東 久 太 郎

廣島縣廣島市鹽屋町第貳拾八番邸

富 永 省 吾

山口縣周防國佐波郡三田尻村第七百五拾五番屋敷

柏 木 幸 助

廣島縣廣島市横町第三番邸

田 邊 音 松

山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾八番屋敷

野 村 安 右 衛 門

全縣全國全郡小郡村第七百五拾九番屋敷

江 村 利 兵 衛

全縣全國同郡鎮鏡司村第四百五拾六番屋敷

八 木 慶 太 郎

全縣全國全郡嘉川村第九百四拾貳番屋敷

岸 田 吾 郎

全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷

絲 谷 喜 兵 衛

全縣長門國阿武郡萩町第九百七拾九番屋敷

東 谷 雅 輔

全縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾番屋敷

富 永 利 平

全縣全國全郡全町大字道場門前町第六拾六番屋敷

宮 竹 三 郎

全縣全國全郡全町第七拾壹番屋敷

安 部 半 助

日本磨齒製造株式會社假定款

商法ヲ遵奉シ日本磨齒製造株式會社發起人總議之上決定スル所ノ假
定款左之如シ

第一章 總則

第一條 本會社ノ組織ハ株式會社トス

第二條 本會社ハ磨齒製造販賣ヲ以テ營業トナス

第三條 本會社ハ日本磨齒製造株式會社ト稱ス

第四條 本會社ハ其本社ヲ山口縣周防國吉敷郡山口町大字道場門前

町第七拾壹番屋敷ニ設置ス

第五條 本會社存立時期ハ設立免許ノ日ヨリ滿貳拾ケ年トス

但シ營業滿期ノ後ハ株主總會ノ決議ニ任ス

第六條 本會社ノ資本金總額ハ金貳萬圓トス

第二章 株式及ヒ株主名稱

第七條 本會社ノ株式ハ壹株金貳拾圓トシ其株數ヲ千株トス

第八條 株主名稱ニハ左ノ事項ヲ登記ス

第一 各株主ノ氏名住所

第二 各株主所有ノ株式ノ數及株式ノ番號

第三 各株式ニ付拂込タル金額

第四 各株式ノ取得及譲渡ノ年月日

第九條 本會社ノ株式ハ壹株毎ニ株券壹通ヲ發行スルモノトス

但株券ハ金額拂込以前ニ於テハ假株券ヲ發行シ全額完納ノ後ニ至リ本株券ヲ發行ス

第十條 本會社ノ本株券及ヒ假株券ノ雛形ハ左ノ如シ

株券雛形

甲組

第何號

日本磨齒製造株式會社株券

壹株

氏名 職

此金額貳拾圓

右記名者日本磨齒製造株式會社ノ定款ヲ遵守シ本會社株式ノ內壹株即貳拾圓ノ持主タルヲ相違ナキ證據トシテ此株券ニ本會社ノ印章ヲ押捺セテ之ヲ交附スル者也

此株式ヲ賣買譲受渡セントスルハ本會社へ此株券ヲ持參スベシ本會社ニ於テハ相當ノ検査ヲ遂ゲ此株券裏面鄂

面

欄内へ専務取締役記名欄印シ之レヲ還附スベシ

年 月 日

日本磨齒製造株式會社

専務取締役 氏 名 印

社 印

裏

年 月 日

買渡人記名欄印

買受人記名欄印

買受人 住 所

専務取締役記名欄印

面

假株券雛形

第 何 號

印 紙

日本磨齒製造株式會社假株券

一壹株

此金額貳拾圓

氏名股

表

拂込金額	年月日	専務取締役印
第一回 金額	明治 年 月 日	
第二回 金額	明治 年 月 日	
第三回 金額	明治 年 月 日	
第四回 金額	明治 年 月 日	

右記名者日本磨齒製造株式會社ノ定款ヲ遵守シ本會社株式ノ
 内壹株即廿圓引受タルヲ相違ナキ證據トシテ此株券ヲ付與ス
 拂込金ヲ爲ス時ハ此株券ヲ其部度本會社ヘ持参スベシ本會社
 ハ領収セシ證トシテ金額并年月日ヲ記入シ之ニ専務取締役印
 ヲ押捺スベシ追テ金額入金ノ上ニテ本株券ト引換ベキ者也
 但此株式ヲ賣渡セシトスルキハ此株券裏面割内ヘ賣渡
 渡人ノ氏名及ヒ買渡受人ノ氏名住所ヲ記シ賣渡人共ニ關
 印シテ本會社ヘ持参スベシ本會社ニ於テハ主當ノ検査ヲ受

面

デ専務取締役印ノ上所有ノ移轉ヲ證明スベシ

明治 年 月 日

社印

日本磨齒製造株式會社

専務取締役 氏 名 印

裏

年月日	賣渡人記名調印	買受人記名調印	買受人住所	専務取締役記名調印

[illegible]

第十一條 本會社ノ株式ヲ賣買譲受渡セシトコルモハ其株券又ハ帳
株券ノ裏面ニ賣買譲受渡人記名調印シ而シテ双方連印ノ株式賣買
譲受渡證書ヲ添ヘ之レテ本會社ニ差出シ名義書換メ登記ヲ求ムヘ
シ本會社ハ之レヲ株主名簿ニ登記シ事務取締役之ニ記名調印シテ

其移轉ヲ證スルハ若シ株主死去シ其相續人又ハ受遺贈者ヨリ名義書換ヲ請求スルハ親族又ハ本會社ニ於テ適當ト認メタル貳名以上ノ保證人ヲ立ツベシ

但本會社ニ於テ必要ト認メタルハ市區町村長ノ證明書又ハ其權利移轉ノ證書ヲ提出シシムルヲアルベシ

第十二條 本會社ハ株式名義書換手数料トシテ株主壹通ニ付金五圓ヲ徴收ス

第十三條 株券ヲ損傷シタル者ハ申出ニ從ヒ損傷券引換ヘシ新券ヲ交附スヘシ若シ紛失焼亡シタル者ハ貳人以上ノ保證人連署ノ上其番號枚數及ヒ亡失シタル理由ヲ本會社ヘ申出スヘシ本會社ハ本人ノ費用ヲ以テ直ニ其旨ヲ登週聞以內新聞紙ニ廣告シ滿三十拾日間ヲ

經テ尙ホ發見セザル者ハ新券ヲ交附スベシ

但新券ヲ交附スル者ハ壹通ニ付金貳拾圓ノ手数料ヲ徴收ス

第十四條 本會社ハ株主名簿及ヒ計算開帳ノ爲メ事業年度毎ニ三十

日以内株式賣買讓受假ノ登記ヲ停止ス

但其停止期限ハ豫メ新聞紙ニ廣告スベシ

第三章 株金拂込

第十五條 本會社ノ株金拂込ハ四回ニ分テ壹株ニ付壹圓金六圓ヨリ多カラザル金額ヲ拂込モツコトス

但株金拂込期日及金額ハ少クモ三週間前ニ各株主ニ通知スベシ

第十六條 株主ニ於テ株金ノ拂込ヲ怠リタル者ハ其拂込期限ノ翌日

ヨリ現在拂込迄其延滞金百圓ニ付壹日金參圓ノ割合ヲ以テ遲延利

息ヲ支拂ハレムヘシ

第十七條 株金拂込ノ期日迄ニ其拂込ヲ爲サザル者アルハ更ニ三週間ヨリ少カラサル期日ヲ定メ催告ヲナシ尙入金セサル者ハ其株主ニ通知シテ其株式ヲ公賣ニ付シ其代金ヲ以テ延滞セル拂込金及其利息并ニ之レカ爲メ生シタル諸費途ノ償還ニ充テ尙不足アレバ之レヲ徴收シ若シ餘贏アラハ之レヲ返附スヘシ

第四章 取締役及監査役ノ職人

第十八條 本會社ニ取締役五名監査役三名ヲ置ク

第十九條 取締役及監査役ハ本會社ノ株式拾株以上ヲ所有スル者ノ内ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ撰舉スヘシ

第二十條 本會社ノ取締役ハ其任期中所有ノ株式拾株ヲ本會社ニ預

ケ置ケル本會社ハ其融通ヲ禁スル爲メ封印シテ之レヲ領置ス

第二十一條 本會社ノ取締役ハ參ケ年監査役ハ貳ケ年ヲ以テ任期トス

但再撰ニヨリ重任スルコトヲ得

第二十二條 本會社ノ取締役及監査役ハ何時ニテモ臨時總會ノ決議ヲ以テ之レヲ改撰スルコトヲ得

第二十三條 本會社ノ取締役ハ總テ本會社ノ事務ヲ代理シ業務一切ヲ擔當ス

第二十四條 本會社ノ取締役中ヨリ互撰ヲ以テ主トシテ業務ヲ取扱フニ專ラ事務取締役名及製造主任者壹名ヲ撰定ス
但製造主任者ハ取締役中ニ於テ適任者ヲ附シ且ヤ取締役協議

上他ニ之ヲ撰任スルヲ得ルヤ

第二十五條 本會社ノ監査役ハ取締役カ業務進行ノ適否ヲ監視シ諸計簿書及事業報告書等ヲ檢査シテ株主總會ニ報告ス

第二十六條 本會社ノ取締役及監査役ノ報酬額ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之レヲ定ム

第二十七條 本會社ノ取締役及監査役ニ欠員ヲ生シタルキハ臨時總會ヲ開キ補欠員ヲ選舉スベシト雖其法定ノ人員ヲ欠カヌ且ツ事務ニ差支ナキ限りハ次期ノ改選期迄猶豫スルコヲ得

但補欠員ハ其前任者ノ殘任期間在職スル者トス

第五章 株主總會

第二十八條 本會社ノ株主總會ハ通常總會臨時總會ノ二種トス

第二十九條 本會社ノ通常總會ハ毎年一月之レヲ開ク

第三十條 本會社ノ臨時總會ハ取締役若クハ監査役ニ於テ必要ト認ムルキ之レヲ招集ス又總株金ノ五分ノ壹以上ニ當ル株主ヨリ事件目的ヲ示シ會議ノ召集ヲ請求シタルキハ取締役ハ少クモ速期間内ニ招集ノ手續ヲナスベシ

第三十一條 本會社ノ株主總會ヲ開ク時ハ少クモ十四日以前ニ其會議ノ目的事項并ニ開會ノ期日場所ヲ記載シ各株主ニ通知スベシ

第三十二條 本會社ノ通常總會ニ於テハ取締役及ニ監査役ヨリ報告スル計簿書財産目錄貸借對照表事業報告書配當金分配案ヲ決議スルノ外他事ニ涉ルコヲ得ス

第三十三條 本會社株主總會ノ會頭ハ専斷取締役之レニ任ズ若シ專

務取締役支拂ハ他ノ取締役之レニ代リ取締役總ヲ差支アル
ルハ出席株主中より之ヲ選舉スベシ

第三十四條 本會社ノ株主總會ハ株主總員ノ拾分ノ壹以上ニシテ總
株金ノ四分ノ壹以上ニ當ル株主出席シ其決議權ノ過半數ニ依テ決
ス若シ可否過半スルモ非ハ定款ノ變更ノ變更ノ場合ニ限リ會頭ノ
裁決ニ服スルモ此ノ規定數變更ノ決議ヲ得ルハ株主總員
ノ半數以上ニシテ總株金ノ半數以上ニ當ル株主出席スルニ非デレ
ル株主總會ヲ開クコトヲ得ズ又本會社ノ解散ヲササントスルハ株
主總員ノ半數以上ニシテ總株金ノ四分ノ三以上ニ當ル株主出席ス
ルニ非デレル株主總會ヲ開クコトヲ得ス

第三十五條 本會社ノ株主總會當日ノ出席員定數ニ充テザルハ其

總會ニ於テ假ニ決議ヲ爲シ其決議ヲ總株主ニ通知シテ再ニ總會ヲ
招集ス其通知ニハ若シ第貳ノ總會ニ於テ出席決議權ノ多數ヲ以テ
第壹總會ノ決議ヲ認可シタルモ之レヲ有効トナスヘキ旨ヲ明告
スルコトヲ要ス

第三十六條 本會社ノ株主若シ株主總會ニ出席シ難キハ本會社役
員ニ非ザル株主中ノ者ニ委任狀ヲ交付シ代理出席セシムルコトヲ得
第三十七條 本會社ノ株主總會ニ於ケル決議權ハ拾株迄ハ壹株ヲ以
テ壹個トシ拾壹株以上五十株迄ハ五個毎ニ壹個ヲ増シ五拾壹株以
上ハ拾株毎ニ壹個ヲ増スモノトス

第三十八條 株主ハ住所及ヒ印鑑ヲ本會社ニ届出ツヘシ其氏名住所

但代理委任狀ヲ所持スル者モ本條ヲ適用ス

又ハ印章ヲ變更シタル由亦同シ

第三十九條 本會社定款ノ各條ニ明文アルモノ、外左ノ事項ハ臨時總會ヲ招集シテ決議スルコトヲ要ス

第一 定款ヲ變更スル事

第二 債券ヲ發行シ又ハ會社財產ヲ擔保トシテ債務ヲ負ヒ及ヒ之ヲ辨済スル事

第三 會社解散ノ事

第六章 計算

第四十條 本會社ノ總勘定ハ壹月ヨリ拾貳月迄ヲ壹期トシ翌年一月ニ壹ケ年間ノ出納ヲ精算シ計算書財產目錄貸借對照表事業報告書配當金分配案ヲ作り總會ノ決議ニ付スルモノトス

第四十一條 本會社毎季營業純益金ノ内百分ノ拾ヲ準備積立金トナ

シ百分ノ拾ヲ役員賞與金ト爲シ百分ノ拾五ヲ製造主任者賞與金ト

爲シ百分ノ六拾五ヲ株主配當金ニ充ツ

第七章 雜則

第四十二條 本會社ノ印章ハ左ノ如シ

社 日本興業銀行
製造株式會社
印 會社印章

第四十三條 本會社ノ定款及規則類ノ改正官廳ヘノ諮問屆報後ノ變更株主總會ノ議決營業上ノ要件ハ悉ク記録ヲ以テ之レヲ保存シ且毎期計算ヲ明ニシ若誤狀ヲ製シ株主ニ報告スル

第四十四條 本會社ニ於テ官廳ニ對スル諸願及營業上ノ諸約定往復文書等ニハ凡テ本會社ノ名ヲ用ヒ社印ヲ押捺スヘシ
右日本帝國製造株式會社規定款勸書之通條也 新南紙

明治三十年四月六日

發起人

山口縣周防國吉敷郡嘉川村第八百六拾番屋敷

井 東 久 太 郎

廣島縣廣島市鹽屋町第貳拾八番邸

富 永 省 吾

山口縣周防國佐波郡三田尻村第七百五拾五番屋敷

柏 木 幸 助

廣島縣嘉島市横町第三番邸

田 邊 音 松

山口縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾八番屋敷

野 村 安 右 衛 門

全縣全國全郡小郡村第七百五拾九番屋敷

江 村 利 兵 衛

全縣全國全郡鑛賣司村第四百五拾六番屋敷

八 木 慶 太 郎

全縣全國全郡嘉川村第九百四拾貳番屋敷

岸 田 吾 郎

全縣全國全郡全村第九百貳拾八番屋敷

綠谷喜兵衛

全縣長門國阿武郡萩町第九百七拾九番屋敷

東谷雅輔

全縣周防國吉敷郡山口町大字大市町第貳拾番屋敷

富永利平

全縣全國全郡全町大字道場門前町第六拾六番屋敷

富竹三郎

全縣全國全郡大字全町第七拾壹番屋敷

安部半助

拜啓陳ハ去ル一月二十七日左ノ件々ニ付臨時株主總
會開設致候所出席員定數ニ充タサルヲ以テ假ニ決議
致候ニ付テハ來ル三月九日午時一時當會社内ニ於テ
再ヒ臨時株主總會ヲ開設可致候ニ付万障即合フ以
テ時刻無相違御出席被下度此段及御通知候也
追テ若レ第二ノ總會ニ於テ出席議決權ノ多數ヲ以
テ第一總會ノ決議ヲ認可シタルトキハ之ヲ有効ト
ナス

第一項 定款第四條ヲ本會社ハ其本社ヲ山口縣周
防兩吉敷郡山口町ニ設置スト變更ス
第二項 山口町内ニ於ル本會社移轉必要ノ場合ニ
ハ重役ヘ一任スルコト

明治三十三年
二月二十九日

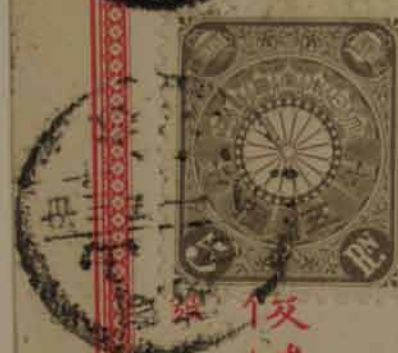
日本磨齒製造株式會社



木岡源三郎

殿

吉友邦とが川
本間源一郎



反はかき
信用

此表面一ハ宿所姓
名を限り認むへし



拜啓當會社定款第三十二條ニ據リ來ル一月廿七日午後一時當會社内ニ於テ第二回通常總會相開キ猶引續キ左ノ件ニ付キ臨時總會相開キ候間万障御繰合右時刻御出席被下度此段御通知申上候也

一山口町内ニ於ル本會社移轉必要ノ場合ニハ重役ヘ一任スルノ件

明治三十三年

一月十四日

日本磨齒製造株式會社

追テ御欠席ノ節ハ別紙委任狀ヘ印紙貼用御記名御捺印被下廿六日迄ニ御送附可被下尤モ現任取締役監查役ヘ御委任ハ無効ニ付キ此段爲念申添候也

右一月廿七日午後一時至三時

きかは便郵



吉安郡赤川お
牛岡海を以て



此の表面には宿所姓名を限り認むべし

宛名人の宿所は宛名よりも大書すべし

送附品附印局改題番附日大

明治三十三年三月十二日午後三時定款變更ノ件ニ付再ヒ臨時株主總會ヲ本會社内ニ於テ開設ス依テ出席議決權ノ多數ヲ以テ第一總會ノ假決議ヲ認可スルコト左ノ如シ

第一項 定款第四條ヲ本會社ハ其本社ヲ山口縣周防國吉敷郡山口町ニ設置ス

ト變更ス

第二項 山口町内ニ於ル本會社移轉必要ノ場合ニハ重役ヘ一任スルコト右及御通知候也

明治三十三年三月十四日

日本磨齒製造株式

會社



きかは便郵



吉安郡嘉川
本間源三郎殿

宛名人の宿所は宛名よりも大書すべし

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

拜啓陳ハ當會社監查役滿期ニ付本月五日撰舉ノ爲
ノ臨時株主總會開會候處當日出席株主貳拾四名此
株數貳百拾貳株總株主九拾五名總株數七百五拾株
ニ對シ定數ニ滿ルヲ以テ開設ス依テ監查役撰舉ノ

結果當選者 美禰龍彦 林春造 佐々木一太郎

右決定候ニ付此段及報告候也

明治卅三年九月十二日

日本磨齒製造株式會社



郵便往復はき

(往信)

土敷郡嘉川村
本間源を以て致



宛名人の宿所は宛名よりも大書すべし

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

拜啓倍々御清適奉賀候陳ハ當會社監查役美禰龍彦富永省吾
清水生輔今回滿期ニ付改撰之爲メ來ル九月五日午後二時本
社内ニ於テ臨時株主總會相開候條萬障御繰合之上右時刻迄
ニ御出席被下度此段及御通知候也

追而欠席之御方ハ別紙委任狀へ御捺印之上必ス御送附願上候尤モ重
役ニアラサル内へ御委任相成度申添候

山口縣山口道場門前町

明治三十三年八月二十日

日本磨齒製造株式會社



郵便往復はき

(信 往)



大日本郵便
往復郵便
郵便往復

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

人の宿所は名宛より大書すべし

大日本郵便局印

拜啓陳ハ當會社定款第三十一條ニ依リ來ル三十一日當會
社内ニ於テ第三回通常總會相開候ニ付萬障御繰合ヲ以テ
當日午後正二時無相違御出席被下度此段及御通知候也

追而御欠席之節ハ別紙委任狀へ御記名御捺印之上三十日迄ニ御送付可
被下候尤モ取締役監查役へ御委任ハ無効ニ付爲念此段申添候

明治三十四年一月十七日

日本磨齒製造株式會社



きかは復往便郵

(信 往)



本河淵三郎
吉勢印研月右

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

宛名人の宿所は宛名よりも大書すべし

拜啓倍々御清適奉賀候陳ハ當會社來ル一月三十
十一日午前十二時本會社内ニ於テ第四回通常
總會相開キ候條萬障御操合之上右時刻迄ニ御
出席被成下度此段及御通知候也

追テ欠席之御方ハ別紙委任狀へ御調印
之上必ラズ御送付願上候尤モ取締役及
監查役へノ御委任ハ無効ニ付爲念申添
候

山口縣山口道場門前町

明治三十五年
一月十五日

日本磨齒製造株式會社



きかは便郵



本
向
深
王
部
殿



吉
敷
印
部
川
本

宛名人の宿所は宛名より大書すべし

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

通商郵便印部殿部川本

拜啓陳ハ當會社監査役滿期ニ付本月五日
撰舉ノ爲メ臨時株主總會開會候處當日出
席株主貳拾五名（ハシ）株數貳百〇壹株總株主九
十五名總株數七百五十株ニ對シ定數ニ滿
ルヲ以テ開設ス依テ監査役選舉ノ結果當
選者美禰龍彦林春造佐々木一太郎右決定
候ニ付此段及報告候也

明治三拾四年九月拾三日

日本磨齒製造株式會社

きかは復往復郵

(信 往)



吉勢印
本
了
源
印
版



宛名人の宿所は宛名よりも大書すべし

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

送郵局刷印局政備部出日大

拜啓倍々御清適奉賀候陳ハ今回當會社監査役三名満期撰舉
之件ニ付來ル九月五日午後一時本會社内ニ於テ株主臨時總
會相開キ候條萬障御操合之上右時刻迄ニ御出席被成下度此
段及御通知候也

追テ欠席之御方ハ別紙委任狀へ御調印之上必ラス御送
附願上候尤モ取締役へ之御委任ハ無効ニ付爲念申添

山口縣山口道場門前町

明治三十四年八月二十二日

日本磨齒製造株

二五二五



は復便郵



本問源三郎殿

吉敷郡新井おろき丸番にお



宛名の表面には宿所姓名を限り記入せしむ

通郵品別印面数面隔用白欠

拜啓倍々御清適奉賀候陳ハ今回當會社取締役五名滿期撰舉
之件ニ付來ル四月十七日午後一時本會社内ニ於テ株主臨時
總會相開キ候條萬障御繰合之上右時刻迄ニ御出席被成下度
此段及御通知候也

追テ欠席之御方ハ別紙委任狀へ御調印之上必ラス御送
附願上候尤モ取締役監查役へ之御委任ハ無効ニ付爲念
申添候

山口縣山口道場門前町

日本磨齒製造株式會社

明治三十四年四月四日



日本磨齒製造株式會社

決議書
營業景況
事務報告
營業報告

日本磨齒製造株式會社第四回通常總會決議書

明治三十五年一月三十一日本會社第四回通常總會ヲ本會社内ニ於テ開ク當日出席株主
井ニ總株金等定數ニ滿ルヲ以テ全日午後四時開會セリ當日決定セシ各項左之如シ

一本會社第四回事務報告

一本會社第四回營業景況書

一本會社第四回(自明治三十四年一月
至全 年十二月)營業報告書
右之通認定スル處相違無之依ラ茲ニ記名捺印スルモノ也

明治三十五年一月三十一日

出席株主

兒玉良友

井上藤桃

清水生輔

佐々木一太郎

桂 梅吉

信吉 五四
本間 三郎
吉村 多三郎
松崎 仙之介
三好 琴棋
篠原 太吉
吉富 寅太
矢儀 六五郎
堀山 潤作
荒川 信介
野村 新兵衛
田村 助七

井上 啓藏
山根 儀兵衛
八木 慶太郎
西村 孝太郎
田邊 晉松
林 春造
井上 貞吉
永安 重三郎
井上 五郎三郎
工藤 孝四郎
兒玉 貞一郎
木村 照治郎

營業景況

御モ本年中磨齒販賣ノ景況ハ前季ニ於テ漸次ニ從來ノ信用挽回ヲ略ス途ニ就キ本季ニ於テハ聊好望ノ模様ナリシ故ニ此機ヲ失セズ一付販路擴張ニ着手中ノ所不幸ニモ化粧品備置ノ時機ニ際シ取引本場タル大阪九州其他各地ニ於テモ春來各銀行ノ破産ト經濟界ノ變動トノ爲メニ一般ノ高況不振ノ悲愴ニ沈シ還ニ淨々取引ヲナスコトヲ得ザルノミナラズ却テ豫定ノ製品ハ停滯ヲ來シ爲メニ誠ニ株主諸氏ハ對シテ満足ナル報告ヲナセ不能ハ頗ル遺憾トスル所ナリ然リト雖本季ニ於テハ從來ノ販賣方法ヲ一掃テ舊ケト取引上ニ改良ナシタル爲メ大阪其他各地ニ於テ六拾貳名ノ諸賣者ヲ得タルハ全ク品質ノ高評ト本社取引上ニ聊カ信用ヲ恢復セシモノト信ス

尙本期ニ於テ金壹百拾九圓拾四錢七厘ノ損失金ヲ生シタルハ去明治三十二年借入金ニ對スル利子ノ支拂新規ノ課税及廣告料等ヲ支出セルヨリ生シタル損失ナレモ前季ニ於テ金五拾六圓〇九錢八厘ノ純益繰越金アリタル爲メ本季ニ於テ全ク損失トシテ后期ニ繰越金ハ金六拾參圓四錢九厘ナリトス

第四回事務報告

日本磨齒製造株式會社

一明治三十四年一月ヨリ全年十二月ニ至ル本會社ニ於テ實際旅行シタル業務期末及諸勘定ヲ精査シ株主各位ニ報告スル事項左ノ如シ

所務要項

一明治三十四年一月三十一日本會社第三回通常總會ヲ本會社内ニ於テ開ク當日主席株主并ニ總株主等定數ニ滿ルヲ以テ開會セリ當日決定セシ各項左ノ如シ

一本會社第四回營業報告

一本會社第四回營業景況書

一本會社第四回(自明治三十四年一月一日起至十二月)營業報告書

一明治三十四年四月十七日取締役見玉良及吉富寅太河北勘七伯本幸助信青五則滿期ニ付選舉ノ爲メ本會社内ニ於テ臨時株主總會ヲ開設セリ其結果見玉良及吉富寅太河北勘七信吉五伯本幸助當選シ全年五月六日就任セリ

一明治三十四年五月十四日改選取締役ノ登記ヲ山口區裁判所ニ申請シタリ

一明治三十四年九月監査役美禰健三氏存造佐々木一太郎滿期ニ付手廻帳ノ爲メ本會社
内ニ於テ臨時株主總會ヲ開設シタル所其結果美禰龍彦氏存造佐々木一太郎當選就任
セリ

右之通りニ候也

明治三十五年一月

日本磨齒株式會社

第四回(自明治三十四年一月一日起至同年十二月)營業報告

負債之部

一金壹萬五千圓
一金貳百〇九圓五拾八錢貳厘
株 金
借 入 金

合計金壹萬五千貳百〇九圓五拾八錢貳厘

資產之部

一金六千五百參拾四圓
一金六拾九圓〇〇九厘
株金拂込未済高
金 銀
貸 金
原料及製品
掛賣代金未收入
創 業 費
一金參千參百拾圓貳拾五錢七厘
一金壹千七百四圓參拾七錢貳厘
一金壹千貳百四拾圓參拾九錢壹厘

一金貳千圓

一金壹百八拾八圓五拾錢四厘

一金六拾柒圓四錢九厘

合計金壹萬五千貳百九圓五拾八錢貳厘

財產目錄

一金六千五百參拾四圓

一金六拾九圓九厘

一金壹百圓

一金參千參百拾圓貳拾五錢七厘

一金壹千七百四圓參拾七錢貳厘

一金壹百八拾八圓五拾錢四厘

一金貳千圓

合計金壹萬參千九百六圓拾四錢貳厘

商標讓受費

什 器

損 失 金

株金抽込未納高

現 金

貸 金

原料及製品在高

掛賣代金未收入

計 器

商標讓受費

損益計算書

收入之部

一金六百七拾圓貳拾五錢四厘

一金壹百參拾參圓七拾九錢

一金參圓七拾錢

一金五拾六圓九錢八厘

合計金八百六拾參圓八拾四錢貳厘

支出之部

一金貳百七圓六拾九錢七厘

一金壹百五拾六圓八拾六錢

一金壹百拾貳圓四拾五錢貳厘

一金七拾參圓五拾四錢

一金參拾四圓拾八錢

製品賣上高

製品在高

雜 益

前季より繰越

原料品

職工賃

廣告費

屋賃

旅費

一金拾七圓參拾八錢
 一金拾參圓七拾八錢
 一金壹百參拾九圓貳拾錢
 一金參拾九圓九拾六錢貳厘
 一金貳拾七圓五拾七錢五厘
 一金五拾圓貳拾九錢四厘
 一金參圓壹錢
 一金九圓拾壹錢九厘
 一金拾錢
 合計金九百貳拾六圓八拾九錢壹厘
 差引金六拾參圓四錢九厘

內

金六拾參圓四錢九厘

通信費
 運賃
 給料
 雜費
 消耗費
 稅金
 荷造費
 代金直引
 手数料
 損失金
 後季繰越金

右之通相違無之候也

日本磨齒製造株式會社

取締役 兒玉 真友
 同 河北 勘七
 同 吉富 寅太
 同 信吉 五朗
 同 柏木 幸助
 支配人 桂 梅吉
 監査役 美瀬 龍彦
 同 林 春造
 同 佐々木 一太郎

前記各項調査ヲ遂ケ其正額ナルヲ保證候也

(山口町 金子活版所印行)

日本磨齒製造株式會社

決議書

營業景況

事務報告

營業報告

日本磨齒製造株式會社第五回通常總會決議書

明治三十六年一月三十一日日本會社第五回通常總會ヲ本會社內ニ於テ開ク當日出席株主
并ニ總株金定數ニ滿ルヲ以テ全日午後三時開會セリ當日決定セシ各取左之如シ

一本會社第五回所請要項

一本會社第五回營業景況書

一本會社第五回（自明治三十五年一月）營業報告書
至全 年十二月

右之通認定スル處相違無之依テ并ニ記名捺印スルモノ也

明治三十六年一月三十一日

出席株主

兒玉真友

荒川信介

美田龍彦

信吉五郎

林源之進

二
柏木孝助

井上豊桃

桂 彬吉

委任出席者

河北勘七

彌重平次郎

彌重養介

鈴木幹夫

永井幸兵衛

藤田陽一

松谷辰龍

水津彌七

吉村多三郎

宮川臣吉

安部猪之介

泰 包道

兒玉鬼一郎

江村利兵衛

工藤孝四郎

末廣福次郎

井上真吉

井上啓藏

井上五郎三郎

山根儀兵衛

小川藤太

第五回營業報告

日本磨齒製造株式會社

一明治三十五年一月ヨリ全年十二月ニ至ル本會社於テ實際施行セタル業務ノ細末及
諸定テ精査シ株主各位ニ報告スル事項ハ左ノ如シ

所 務 要 項

一明治三十五年一月三十一日本會社第四回通常總會ヲ本會社内ニ於テ開ク當日出席株
主并ニ總株金等定數ニ滿ルヲ以テ開會セリ當日決定セシ各項ハ左ノ如シ

一本會社第四回營業報告

一本會社第四回營業景況書

一本會社第四回(自明治三十四年一月
至全 年十二月)營業報告書

一明治卅五年九月監査役美禰龍彦林春造佐々木一太郎滿期ニ付運譽ノ爲メ本會社内ニ
於テ臨時株主總會ヲ開設セタル所其結果美禰龍彦林春造佐々木一太郎當選就任セリ
右之通りニ候也

明治三十六年一月

營業景況

抑モ本季磨齒販賣ノ景況ハ前季ニ於テ漸次ニ從來ノ信用ヲ挽回モ略ビ途ニ就キ本季ニ
於テハ一層販賣擴張ニ着手中ノ所意外ニモ各地ニ於テ同種ノ化粧品製造業者續出シ非
常ナル廣告手段ト非常ナル競争ノ現象ヲ呈シタルト春來一般商況ノ不振ノ故境ニ沈ミ
タル爲メニ少々敷取引ヲナスヲ得ズ誠ニ株主諸氏ニ對シテ満足ナル報告ヲナス不能願
ル遺憾スル所ナリ

日本磨齒製造株式會社

第五回

(自明治三十五年一月至全
年十二月)營業報告

負債之部

一金壹萬五千圓

一金參百六拾八圓五拾貳錢貳厘

合計金壹萬五千參百六拾八圓五拾貳錢貳厘

資產之部

一金六千五百參拾四圓

一金七圓九拾五錢參厘

一金壹百圓

一金壹千六百拾七圓六拾四錢九厘

一金壹千七百八拾四圓〇六錢壹厘

一金壹千貳百四拾圓參拾九錢壹厘

株 金
借 入 金

株金拂込未済高
金 銀
貸 金
原料及製品
掛賣代金未收入
創 業 費

一金貳千圓

一金壹百八拾八圓五拾錢四厘

一金六拾參圓〇四錢九厘

一金壹百四拾圓參拾錢七厘

一金壹千六百九拾貳圓六拾錢八厘

合計金壹萬五千參百六拾八圓五拾貳錢貳厘

財產目錄

一金六千五百參拾四圓

一金七圓九拾五錢參厘

一金壹百圓

一金壹千六百拾七圓六拾四錢九厘

一金壹千七百八拾四圓〇六錢壹厘

一金壹百八拾八圓五拾錢四厘

商標讓受費
什 器

前季繰越損失金
當季損失金
換算欄卸損

株金拂込未済高
現 金
貸 金
原料及製品在高
掛賣代金未收入
什 器

一金貳千圓

合計金壹萬貳千貳百參拾貳圓拾六錢七厘

商權讓受費

損益計算書

收入之部

一金參百八拾七圓參拾九錢貳厘

一金四拾五錢

合計金參百八拾七圓八拾四錢貳厘

支出之部

一金九拾九圓貳拾壹錢五厘

一金八拾八圓九拾五錢

一金五圓貳拾六錢

一金六拾圓

一金拾六圓七拾九錢

一金拾七圓四拾七錢七厘

一金壹圓參拾貳錢五厘

製品賣上高
雜益

原料品
職工賃
廣告料
屋賃
旅費
通信費
運賃

一金壹百四拾四圓
 一金拾七圓七拾七錢
 一金貳拾五圓八拾壹錢壹厘
 一金四拾圓七拾四錢參厘
 一金七圓拾壹錢六厘
 一金參圓參拾九錢貳厘
 一金參拾錢
 合計金五百貳拾八圓拾四錢九厘
 差引金壹百四拾圓參拾錢七厘
 一金六拾參圓四錢九厘
 一金壹千六百九拾貳圓六拾錢八厘
 一金壹百四拾圓參拾錢七厘

內

給
 雜
 消
 稅
 備
 代
 手
 料

給
 費
 耗
 金
 品
 金
 直
 引
 費
 料

前季繰越損失金
 換算繰却損金
 當季損失金

右之通相違無之候也

一金壹千八百九拾五圓九拾六錢四厘

后季繰越金

日本磨齒製造株式會社

明治三十六年一月

取締役

兒玉良友

同

河北勘七

同

吉富寅太

同

信吉五朗

同

柏木幸助

支配人

桂梅吉

前記各項調査ヲ遂ケ其正額ナルヲ保証候也

監査役

美福龍彦

同

林春造

同

佐々木一太郎

(山口町金子沼殿所印行)

三敷郡新市

本乃原三郎敬



唐詩

日本磨齒興業株式會社



拙者儀日本磨齒製造株式會社臨時總會へ出席可致筈之處差問ニ付全株主

ヲ以テ部理代人ト相定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限

ノ事ヲ代理爲致候事

一明治三十五年

月

日日本磨齒製造株式會社臨時總會ニ付拙者ニ關スル株主權利

義務一切ノ件

一決議書類へ代印ノ件

一代理者

差問ノ節ハ全人ノ見込ヲ以テ他ノ株主へ委任取計ノ件

右代理ノ委任狀如件

明治三十五年

月

日

縣

市郡

村町

番地

拜啓倍々御清適奉賀候陳ハ今回當會社監查役三名滿期撰舉件
ニ付來ル九月十日日午後一時本會社内ニ於テ株主臨時總會相
開キ候條萬障御操合之上右時刻迄ニ御出席被成下度此段及御
通知候也

追テ欠席之御方ハ別紙委任狀へ御調印之上必ラス御送附
願上候尤モ取締役へ之御委任ハ無効ニ付爲念申添候

明治三十五年九月一日

山口縣山口道場門前町

日本磨齒製造株式會社



別紙委任狀ハ此處に添付ス



拙者儀日本磨齒製造株式會社第貳臨時總會へ出席可致筈之處差問ニ付全

株主

ヲ以テ部理代人ト相定メ拙者ノ名義ニテ左ノ

權限ノ事ヲ代理爲致候事

一明治三十六年

月

日日本磨齒製造株式會社第貳臨時總會ニ付拙者ニ關スル株主

權利義務一切ノ件

一決議書類へ代印ノ件

一代理者

差問ノ節ハ全人見込ヲ以テ他ノ株主へ委任取計ノ件

右代理ノ委任狀如件

明治三十六年

月

日

縣

市郡

村町

番地

拜啓左ノ事項ニ付來ル六月十日午前十時本
會社内ニ於テ臨時總會相開キ候間萬障御操合
ノ上必ズ御出席被下度此段御通知申上候也

明治三十二年
五月二十日

日本磨齒製造株式會社

臨時總會議案

一清算人ノ作りタル財産目錄并ニ貸借對照表
承認ノ件



日本磨齒製造株式會社

臨時總會假決議書

明治參拾六年一月三十一日本會社内ニ於テ臨時總會ヲ開ク當日出席株主并總株
金等定數ニ滿ザルヲ以テ全日午後三時左ノ通りニ假決議ヲナス

一本會社第貳回末拂株ニ屬スル株券公賣不足金ノ求償權ハ之ヲ拋棄スルコト
一本會社ハ任意解散ヲナスコト

一明治參拾六年四月二十日迄テニ其請算ヲ結了スルコト

一請算人ハ商法第貳百貳拾六條前段ニ依リ取締役連帶ニテ之ニ任ズ

右ノ決議ヲ結了スル爲メ來ルニ月三十一日午前十時本會社内ニ於テ前決議ヲ

原案トスル第貳回臨時總會ヲ開キ候間御出席成被下度候也

告知事項

若レ此度第貳ノ總會ニ於テ出席議決權ノ多數ヲ以テ第壹總會ノ決議（前記
決議）ヲ認可シタル事ハ之ヲ有効トナスベシ

明治廿二年二月二日

取締役

兒	玉	良	友
河	北	勘	七
吉	富	寅	太
信	吉	五	朗
柏	木	幸	助

本石海三郎殿

自明治三十一年四月至明治三十一年十二月

日本磨齒製造株式會社第壹回營業報告

第一回實際報告

一 商況

一 貸借對照表

一 財產目錄

一 損益勘定表

第一章 實際報告

山口縣吉敷郡山口町大字道場門前

日本 磨 齒 製 菓 株 式 會 社

明治三十一年四月十五日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル間本社ニ於テ實際施行シタル業務ノ顛末及諸勘定ヲ精査シ以テ株主各位ニ報告スルヲ左ノ如シ

處 務 要 件

一 明治三十年九月三日創業總會ヲ山口町ニ開キ本社定款ヲ議定シ且ツ創立費及商標讓受費ノ承諾ヲ經引繼キ役員選舉ヲナセリ

一 明治三十年十月三日專務取締役及取締役撰選ノ爲臨時總會ヲ開設セリ

一 明治三十年十一月廿四日設立免許申請書ヲ主務省ニ差出タリ

一 明治三十年十二月九日農商務大臣ヨリ本社設立免許ノ指令ヲ受ケタリ

一 明治三十一年四月十四日山口區裁判所ニ於テ本社設立ニ關スル事項及役員就任等ノ登記ヲ受ケタリ

一 明治三十一年四月十六日本社營業ヲ開始セリ

一 明治三十一年十二月十三日臨時總會ヲ本社内ニ開キ取締役井東久太郎辭任ニ付後任選
舉ヲ行ヒ柏木幸助當選セリ

一 明治三十二年一月廿七日山口區裁判所ニ於テ前項ノ登記ヲ受ケタリ

商 況

抑本期ハ創業當初ニ屬スルヲ以テ容器其他諸種ノ裝飾品等容具ニ完備ヲ告グル能ハス事
業上非常ノ困難ヲ感シタルノミナラス會々金融逼迫ノ時運ニ際シ株金拂込ノ如キモ自然
其影響免レ難ク準備上往々蹉跌ヲ來シ收益高ニ對シ比較的多額ノ出費ヲ要シ株主諸氏ニ
對シ満足ヲ與フルノ結果ヲ得ザリシハ實ニ遺憾トスル所ナリ然リト雖今ヤ事業ノ基礎已
ニ確立シ製品ノ品位優等ニシテ至ル處稱讚ヲ得需要ノ途亦大ニ有望ナルヲ以テ次回ニ於
テハ必ズヤ好成績ヲ奏スルヲ得ン

日本磨齒製造株式會社 第一回營業報告

貸借對照表

一 株 金	貳〇、〇〇〇	〇〇〇
一 掛買未拂金	五壹貳	四叁七
一 借 入 金	叁五〇	〇〇〇
合 計	貳〇、八六貳	四叁七
資產之部		
一 株金拂込未済額	壹壹、壹六八	〇〇〇
一 金銀有高	壹、五壹壹	貳六七
一 原料及製品	貳、五〇八	六叁六
一 掛賣代金未収金	壹、六七八	八五〇

一 雜項入費

壹、貳四〇 參九壹

一 油糧讓受借金

貳、〇〇〇 〇〇〇

一 營業用什器

壹壹五 貳參貳

一 當季純損

六四〇 〇六壹

合 計

貳〇、八六貳 四參七

財產目錄

一 株金拂込未清額

壹壹、壹六八 〇〇〇

一 金銀有高

壹、五壹壹 貳六七

一 原料及製品

貳、五〇八 六參六

一 批賣代金未収金

壹、六七八 八五〇

一 創業入費

壹、貳四〇 參九壹

一 高權讓受借金

貳、〇〇〇 〇〇〇

一 營業用什器

壹壹五 貳參貳

合 計

貳、〇貳貳 參七六

損益勘定表

利益勘定之部

一當季収入高 七壹五 參壹九

内

商品賣上純利益 六六參 八六貳

雜益 五壹 四五七

一當季純損高 六四〇 〇六壹

合計 壹、參五五 參八〇

損耗勘定之部

一營業費 壹、參貳四 八壹八

内

給料 四七參 五七四

旅費 四壹九 壹參參

廣告料及通信費 壹六七 六〇壹
 重役酬費 七五 參四五
 宿直料及ヒ雜費 七七 七七六
 屋賃及ヒ修繕費 參九 九六七
 消耗品費 五壹 八七壹
 運賃 壹參 八六五
 荷具費 五 六八六
 手數料 貳九 五參六
 代金直引 壹 〇貳六
 合計 壹、參五五 參八〇

右之通り相違無之候也

明治三十二年一月二十八日

日本磨齒製造株式會社

專務取締役 兒玉良友

取締役 河北勘七

取締役 吉富寅太

取締役 柏木幸助

取締役 田邊音松

右監査ヲ遂テ其正確ナルヲ証明ス

明治三十一年二月二十二日

監査役 美彌聰彦

監査役 富永省吾



山口町 助産婦人會社印

日本齒製造株式會社臨時總會決議書

明治三十二年一月三十一日當會社監查役補欠選舉及定款中第六條第七條變更ノ件ニ付臨時總會ヲ本會社內ニ開設ス出席株主定數ニ滿タルヲ以テ開會ス決議事項左ノ如シ

第一項 定款中第六條第七條變更ノ件

第六條 本會社ノ資本金總額ヲ壹萬五千圓トス

第七條 本會社ノ株式ハ壹株金貳拾圓トシ其株數ヲ七百五十株トス此或却株ハ現重役持株ノ內ヲ以テ減株スルモノトス

第二項 監查役補欠選舉ノ件

一 監查役補欠選舉ヲ行フ其結果左ノ如シ

當選 (百〇七點)

信 吉 五 郎

次點 (六十八點)

富 永 利 平

右決議候也

明治三十一年二月三十一日

出席株主

一當社創立事務所ハ山口縣山口大市町第貳拾番地ニ設ケアリ

一此申込書ハ御引受株數及住所氏名御記入捺印ノ上壹株ニ付証據金五十錢相添當社創立事務所ニ御送付セラルヘシ
俱シ証據金領収証ハ山口第百拾銀行支店ヨリ送附スヘシ

一假定款第十五條株金拂込ハ會社設立免許後三十日以内ニ壹株ニ付其十分ノ三即チ金六圓(證據金
五拾錢共)ヲ拂込ノ
但株金十分ノ七ハ當分拂込ヲ要セサル見込ノ

一申込總高自然定數ニ超過致シ候節ハ御引受株數ノ幾分ヲ減スルコアルヘシ

但遞減株ニ對スル過剩証據金ハ第一次拂込ノ金内ヘ併算シ尙剩余アルキハ御返戻可致候事

一 賛成御申込ノ諸君ハ引受株數記入御捺印ノ上創立事務所又ハ最寄發起人宅へ御差出シノ事

但レ創立事務所ハ山口市町貳拾壹屋敷ニ設ケアリ

一 賛成申込株ハ五拾株以内ニ限ルヘレ

一 豫約申込日限ハ四月貳拾五日限リノ事

一 日驗見書假定款及ビ申込用紙留メ方ハ事務所へ請求アルヘレ

堂 錢 印

紙 貼 用

アルベレ

株式申込豫約書

一日本磨齒製造株式會社株式五

株

但シ壹株金貳拾圓

右貴所御發起相成目下御出願中ナル株式ノ内前書ノ通拙者引請
申度ニ付此段豫約申込候也

但申込超過ノ爲メ減株セラル、モ敢テ異議無之候追テ認可
済株數決定ノ上御通知次第証據金拂込可申候

明治三拾年四月十五日

山口縣 市 村 町 番 屋 敷
吉 田 市 吉 田 町 吉 田 番 屋 敷

本 同 源 三 郎

日本磨齒製造株式會社創立事務所

御 中

云々

拜啓倍々御清適奉賀候陳ハ當會社創業總會來九月三日山口町祇園茶香亭ニ於テ開會致候間此段御通知申上候御承知之通り商法第百六拾三條ノ規定ハ創業總會ニ於テハ少クトモ總申込人ノ半數ニシテ總株金ノ半額以上ニ當ル申込人ノ承認ヲ經テ定款ヲ確定スヘキモノニ有之候間酷暑之折柄御苦勞ニ御座候得共萬障御操合御出席被成下度樣奉希候尙ホ左ノ件々御一讀之上準備ノ都合モ有之候間御出席之有無來ル^ル迄一日迄ニ事務所ヘ向ケ御一報可被下候

一總會議事ハ定款議定ノ外當會社創立ニ付發起人ニ於テ締結シタル契約及出費認定ノ件
一取締役及監查役選定ノ件

一當日ハ午前正八時開會ニ付出席者ハ七時三十分迄ニ會場ヘ御參集被下度尙ホ遠隔ノ株主諸君ハ前日迄ニ御出山ノ事

一事故欠席者ハ別紙委任狀ヘ御調印ノ上適宜御差出ノ事

山口縣山口大市町二拾番地

明治三十年八月廿五日

日本磨齒製造株式會社創立事務所

本間源三郎殿



加書
九月一日
郵便
送達

委任狀

公加田子



拙者儀日本磨齒製造株式會社創業總會へ出席可致ノ處差間ニ付全株主
以テ部理代人ト相定メ拙者ノ名義ヲ以テ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事

- 一明治三十年九月三日日本磨齒製造株式會社創業總會ニ付拙者ニ關スル株主權利義務一切ノ件
- 一會社ニ關スル書類代印取計ノ件
- 一代理者
- 一差間ノ節ハ同人ノ見込ヲ以テ他ノ株主ヘ委任取計ノ件

右代理ノ委任狀如件

山口縣周防國三敷郡嘉川村番屋敷
番屋敷

明治三十年九月三日

本間源三郎

拜啓陳者當會社明治三十年十二月九日設立免許相成候ニ就テハ第一回拂込金壹株ニ付中六圓（託據金五
給錢其）來世五年一月三十日迄ニ無延滞第百十國立銀行山口支店へ向テ御拂込相成度此段及御通知候也

追テ貴殿御申込株數ハ
拵 株ニ有之候

尙株金拂込期限延滞ノ節ハ定款第十六條ニヨリ拂込期限ノ翌日ヨリ現在拂込迄其延滞金百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ遅延利子ヲ取納スベク尙定款第十七條ニヨリ催告ノ期日迄ニ納入無之時ハ更ニ其株式ヲ公賣ニ附レ其代金ヲ以テ延滞セル拂込金及ヒ其利息并ニ之カ爲メ生シタル諸費途ノ償還ニ充テ尙ホ不足アラハ之レヲ徴収スルノ規定ニ有之候條爲念此段申添候

山口縣山口道場門前町第七番屋敷

明治三十年十二月廿五日

日本磨齒製造株式會社

本間源三郎殿

為小以輕用此以重此乃一乘也者燔之也謂即之也通矣

拜啓陳ハ當會社假株券本月^{十一}日ヨリ第一回拂
込金領收證ト交換致候間此段御通知申上候
追テ郵便ヲ以テ交換ヲ望マル、御方ハ領收
證御送附相成次第假株券郵送可致候尤モ株
券壹枚ニ付郵税^ハ錢ノ割ヲ以テ切手御封入
可被下候

明治三十一年五月六日

山口縣山口道場門前町第七拾壹番地

日本磨齒製造株式會社

中子原三郎 殿



吉敷郡嘉川村第貳。

九年四月

七ノ原之良

成



かき

此表面ハ宿所姓名を限り認むべし

拜啓陳ハ當會社株主井東久太郎外三名ヨリ左記ノ通り臨時株主總會召集之請求有之依テ定款第三十條ニ由リ來ル二十四日午後一時當會社内ニ於テ臨時株主總會開設致度候間乍御苦勞右時日御出席被成下度此段及御通知候也

追テ御差問ニテ御出席無之御方ハ株主内へ御委任有之度此段申添候也

明治三十二年六月七日

山口縣山口町

日本磨齒製造株式會社

左記

請求書

一日本磨齒製造株式會社解散ノ件

理由現今會社營業ノ實況ヲ熟察スルニ前途事業發達ノ見込難相立候へ
ハ茲ニ解散ノ必要ナルコトヲ信認致候

前記ノ理由ニ依リ至急臨時株主總會召集被成下度制規ニ依リ此段及請求候也

明治三十二年六月一日

井東久太郎

井東儀夫

綠谷喜兵衛

岸田吾郎



拜啓陳ハ當會社定款第拾五條ニヨリ第二回拂込金壹株ニ付
金六圓本月十五日ヨリ三十一日迄（午前九時ヨリ
午後三時迄）ニ本社へ直接御
拂込相成度此段及御通知候

追テ株金拂込期限延滞之節ハ定款第拾六條ニヨリ拂込期
限ノ翌日ヨリ現在拂込迄其延滞金百圓ニ付一日金四錢ノ
割合ヲ以テ遅延利子ヲ收納スベク全第十七條ニヨリ催告
ノ期日迄ニ納入無之時ハ更ニ其株式ヲ公賣ニ附シ其代金
ヲ以テ延滞セル拂込金及其利息并ニ之カ爲メ生シタル諸
費途ノ償還ニ充テ尙ホ不足アラバ之レヲ徴收スルノ規定
ニ有之候條爲念此段申添候

山口縣山口道場門前町第七拾壹番地

明治三十一年五月七日

日本磨齒製造株式會社

本間源三郎殿



吉田 彦一 氏 宛
東京市 市川 本

昭和 四年 三月 十日
東京市 市川 本

馬 矢





山口縣山口道場門前町
東洋磨齒富士の峰發賣所

日本磨齒製造株式會社

拜啓益々御清福奉賀候陳ハ當會社定款第三十二條ニ據リ來ル
 一月三十一日午前十時本會社内ニ於テ第一回通常總會相開キ
 猶同日引續キ左之件ニ付臨時總會相開キ候間萬障御差繰右時
 刻迄ニ必ズ御出席被下度此段御通知申上候也
 一 監查役撰舉之件
 一定款第六條第七條變更之件
 明治三十二年一月十七日

日本磨齒製造株式會社



追テ自然御差支之爲メ欠席之御方ハ別紙委任狀へ御捺印
 ノ上來ル三十日迄ニ御送付可被下候尤モ現任取締役及ビ
 監查役へ御委任ハ無効ニ付爲念申添候

布乃保三才殿
 此等より手廻る何子番任帖多量部
 考へて左迄

平問
三
報
殿

書

開東久左衛門

振啓益々信清福奉賀も傳過日自摩蓋敷造梯式
 會社より直安に依りて是等今國臨時總會
 請求致すに付一應有極中情願成り有る得
 共得其意相然否欠席、事出得、可成其佳快
 へは格や、と上格者多、一但、事出、何、可成、有、は
 御答に、格、多、奉、願、也、云々
 進天代人民意、郡后有之、自、可、成、可、成、終
 至、可、成、可、成、云々

明治二十二年

六月十二日

井東久左郎
 井東儀丈
 録谷吉兵衛
 岸田孝一郎

初名保三郎殿

まかは使部



吉敷郡妻川村集
はる九平のやみ
中子宗二うは
水



名宛人の宿所は名宛より大番十へし

此の集落は宿所集を指し示すべし

大日本郵政省郵便局

拜啓陳ハ井東久太郎氏外三氏ヨリ請求
ニ依リ去ル廿四日臨時株主總會招集致
候處全日開會前ニ於テ右提出者四名エ
對シ請求ノ理由質問候處其結果終ニ踈
漏云々ノ故ヲ以テ左ノ通り提出相成リ
依テ會社解散事件ハ自然消滅ト相成候
間右様御承知被下度候

專務取締役兒玉良友、取締役吉富寅太
取締役柏木幸助、取締役田邊音松、監
査役信吉五郎ヨリ辭職申出ニ依リ來ル
七月十日午後一時當會社内ニ於テ臨時
株主總會開設致度候間萬障御繰合御來
社被成下度此段及御通知候也

追テ御出閣無之御ハ株主内へ御委任ノ事

明治卅二年六月二十七日

日本磨齒製造株式會社

請 求 書

竊ニ日本磨齒製造株式會社解散ノ件ニ付請求書差
出居候處都合有之撤同致度候間此段請求候也

明治三十二年

六月廿四日

井東久太郎
井東儀夫
綠谷喜兵衛
岸田吾郎